少年院に送致されず
保護観察処分になった少年（1号観察）の
保護統計10年間データで
変わったこと、変わらなかったこと

新型コロナウイルス感染拡大防止のために、御影クラッセ「集い」、夏祭り・盆踊りでの街頭キャンペーン等イベントを中止しました。

そこで、新たな試みとして「PDF冊子」を見ていただき、

犯罪や非行のない地域をつくるために，

一人ひとりが考え，参加するきっかけ

になることを願っております。

東灘区保護司会
広報部長　和田　道夫

KOSEI SUPPORT PROJECT

保護統計から学ぶ

少年院に送致されず
保護観察処分になった少年（1号観察）の
保護統計10年間データで
変わったこと、変わらなかったこと

令和2年7月

更生支援プロジェクト

和田　道夫

（東灘区保護司会）

KOSEI SUPPORT PROJECT

保護観察対象者、保護観察の期間および人員

保護観察対象者		保護観察の期間	保護観察開始人員 平成30年（人）
1号観察	保護観察処分少年 家庭裁判所で保護観察に付された少年	20歳まで又は2年間	12,945
2号観察	少年院仮退院者 少年院からの仮退院を許された少年	原則として20歳に達するまで	2,146
3号観察	仮釈放者 刑事施設からの仮釈放を許された人	残刑期間	12,299
4号観察	保護観察付執行猶予者 裁判所で刑の全部又は一部の執行を猶予され保護観察に付された人	執行猶予の期間	3,455
5号観察	婦人補導院仮退院者 婦人補導院からの仮退院を許された人	補導処分の残期間	－
		合計	**30,845**

KOSEI SUPPORT PROJECT

保護統計　1　保護観察の開始及び終了人員等累年比較

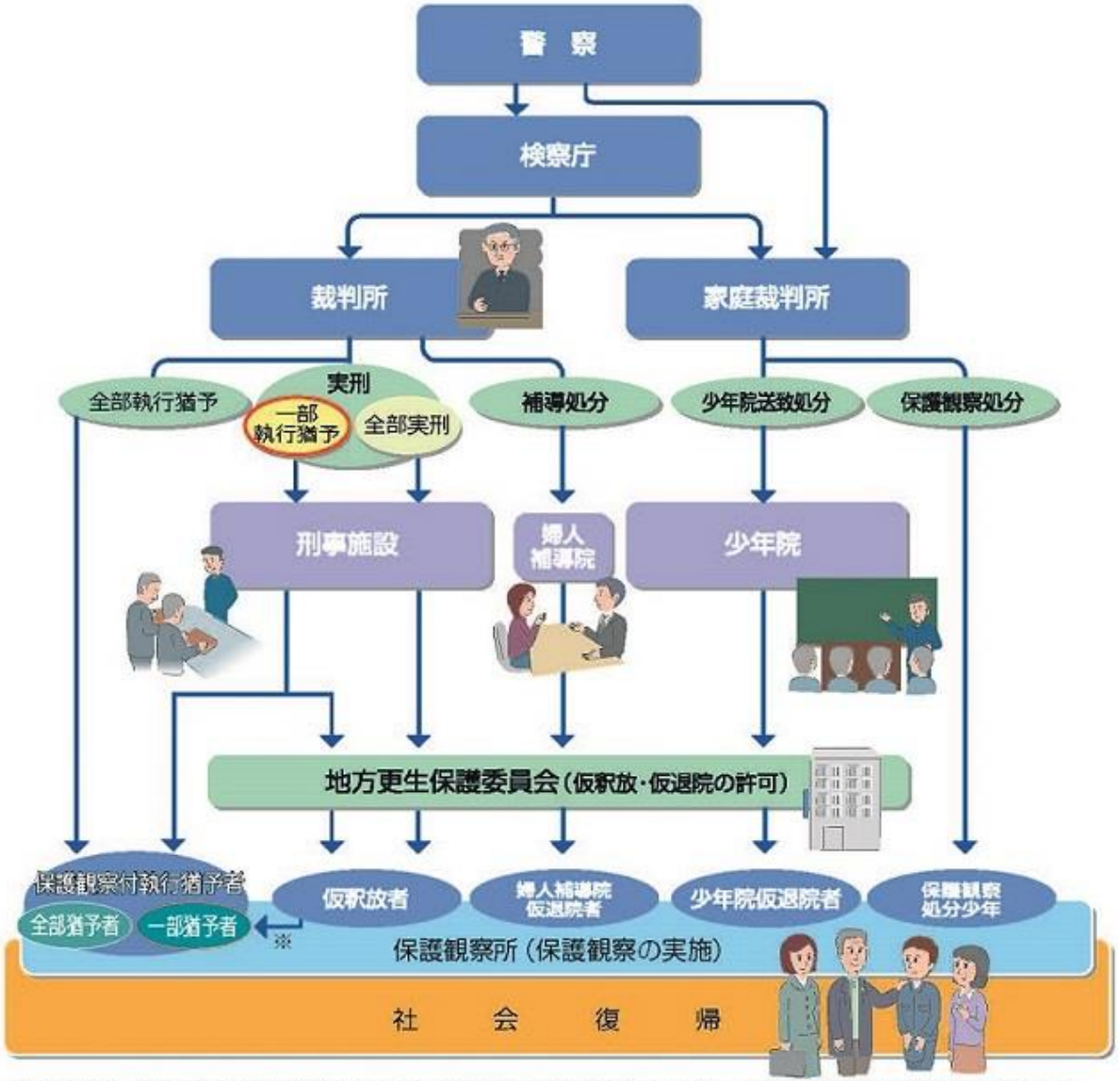
1号観察の種別

種別	対象	処遇上の特徴	保護観察開始人員 平成30（人）
①一般の保護観察	②，③及び④以外の者		4.814
②短期保護観察（家庭裁判所の処遇勧告に基づく）	交通事犯者でない者のうち，非行を繰り返すおそれがあるものの，以下の事項に該当する少年 ・非行性の進度が深くない ・資質に著しい偏りがない ・反社会的集団に加入していない ・保護環境が著しく不良でない	・特別遵守事項を定めない ・生活の記録とあらかじめ設定された課題の履行状況を毎月報告させる	2.115
③交通事件の保護観察	・交通事犯者であること ・④以外の者であること	・保護観察所の長が定める「交通に関する学習」を行う（特別遵守事項）	1.582
④交通短期保護観察（家庭裁判所の処遇勧告に基づく）	交通事犯者のうち，以下の事項に該当する少年 ・一般非行性がないか，あってもその進度が深くない ・交通関係の非行性が固定化しておらず，資質に著しい偏りがない ・対人関係に特に問題がなく集団講習への参加が期待できる ・保護環境が特に不良でない	・特別遵守事項を定めない ・集団による講習が処遇の中心 ・毎月，生活状況報告書を提出させる ・担当保護司を設けない	4.434
		1号観察総数	12.945

KOSEI SUPPORT PROJECT

法制審議会少年法・刑事法（少年年齢・犯罪者 11 処遇関係）部会
第2分科会第6回会議配布資料
保護統計　4　観察所別1号観察の開始及び終了人員

刑事司法手続の流れ



※保護観察付一部猶予者が仮釈放を許された場合は、仮釈放中の保護観察が終了した後、一部猶予期間中の保護観察が開始されます。

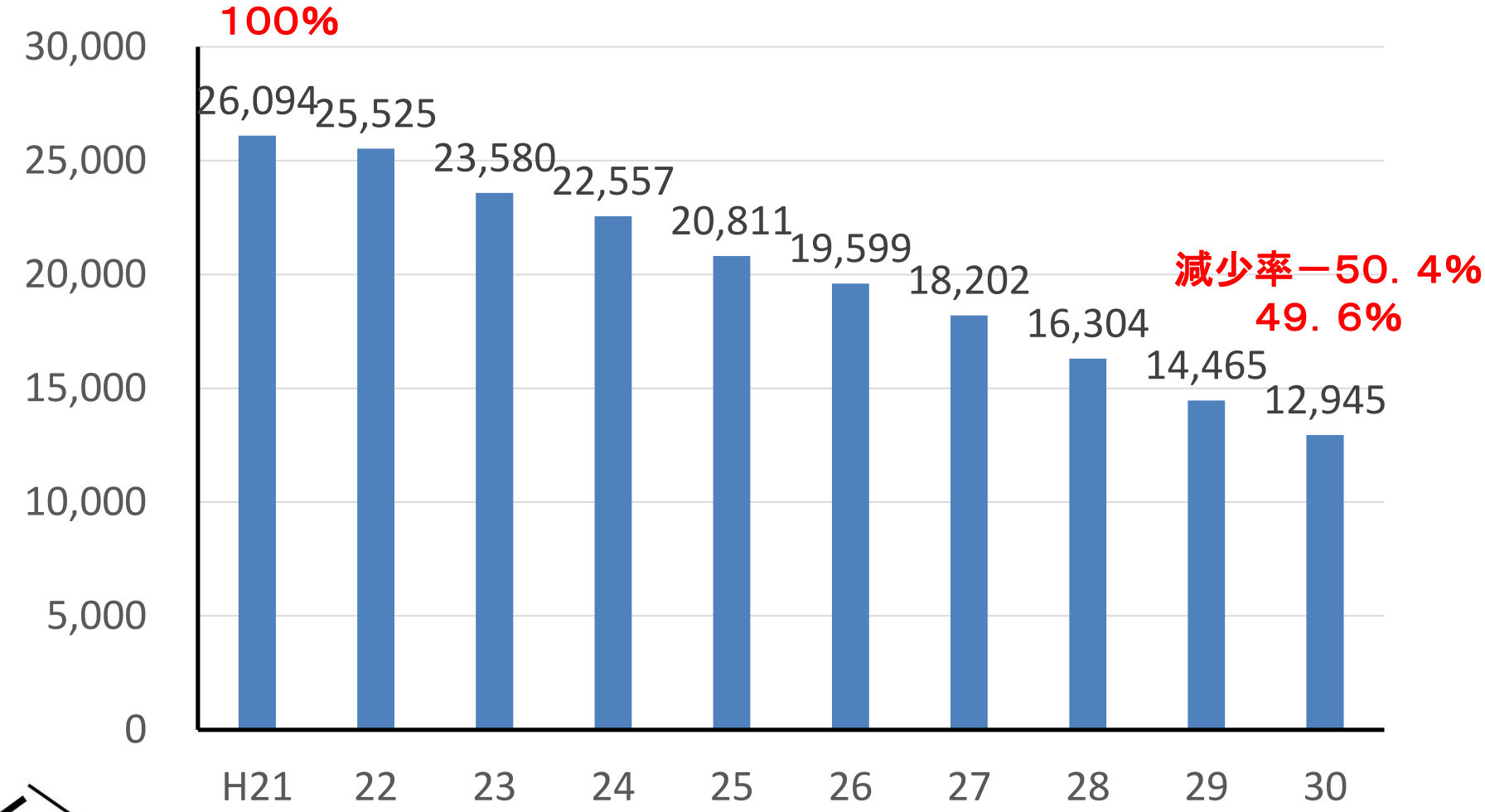
法務省　http://www.moj.go.jp/hogo1/soumu/hogo_hogo01.html

KOSEI SUPPORT PROJECT

保護統計から学ぶ－１

１号観察開始人員の推移

（注）交通短期保護観察対象者を含む



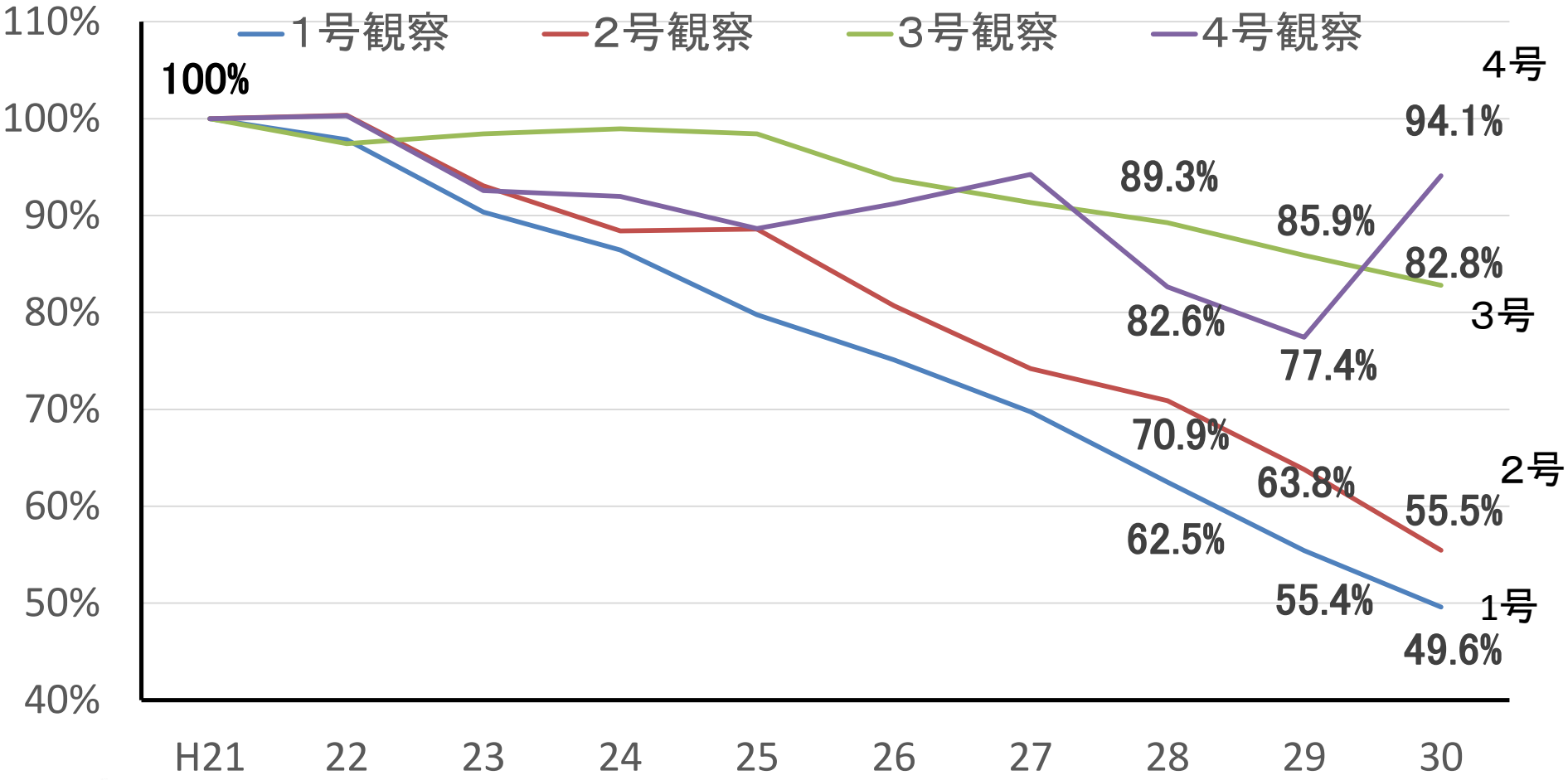
10年で半減

KOSEI SUPPORT PROJECT

保護統計　２　観察所別　開始人員累年比較

保護統計から学ぶ－1

観察開始人員の推移



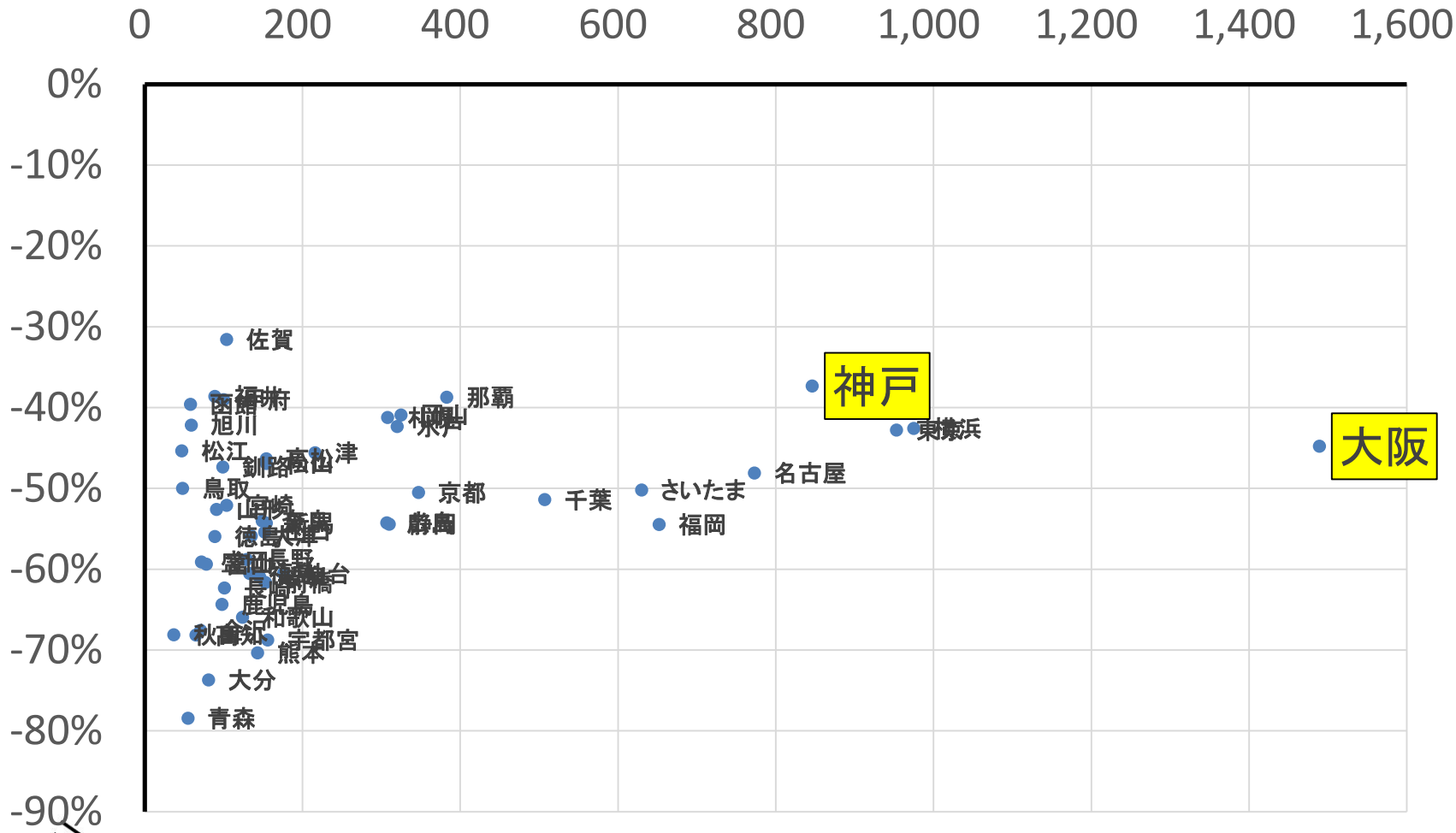
1・2号：10年で半減
3・4号：減少傾向

KOSEI SUPPORT PROJECT

保護統計　2　観察所別　開始人員累年比較

観察所別　1号観察開始人員（H30）とH21⇒30減少率

（注）交通短期保護観察対象者を含む

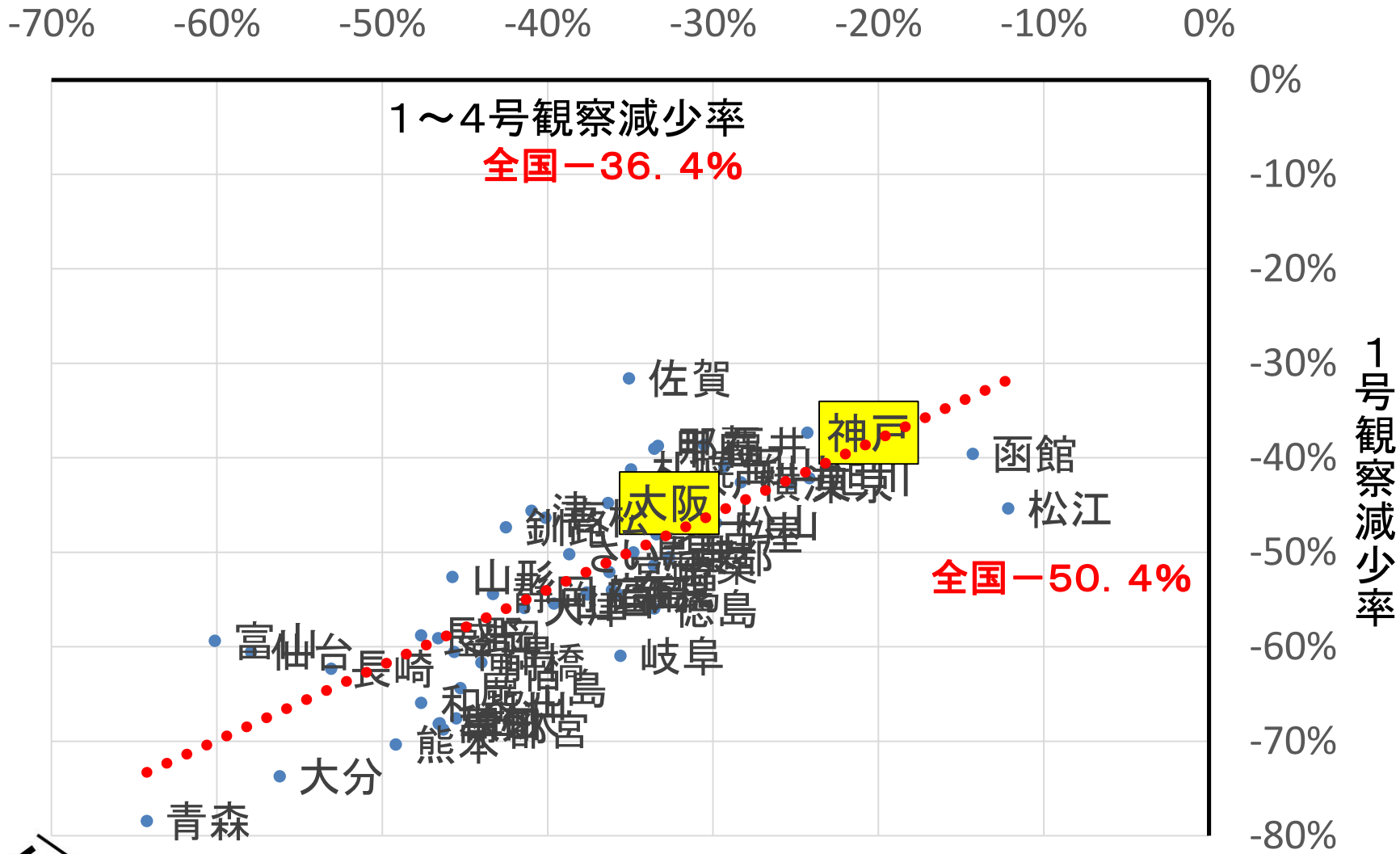


減少率　　:-30～-80%
開始人員:大阪が突出

KOSEI SUPPORT PROJECT

保護統計　2　観察所別　開始人員累年比較

観察所別　１号と1～4号観察開始人員のH21⇒30減少率



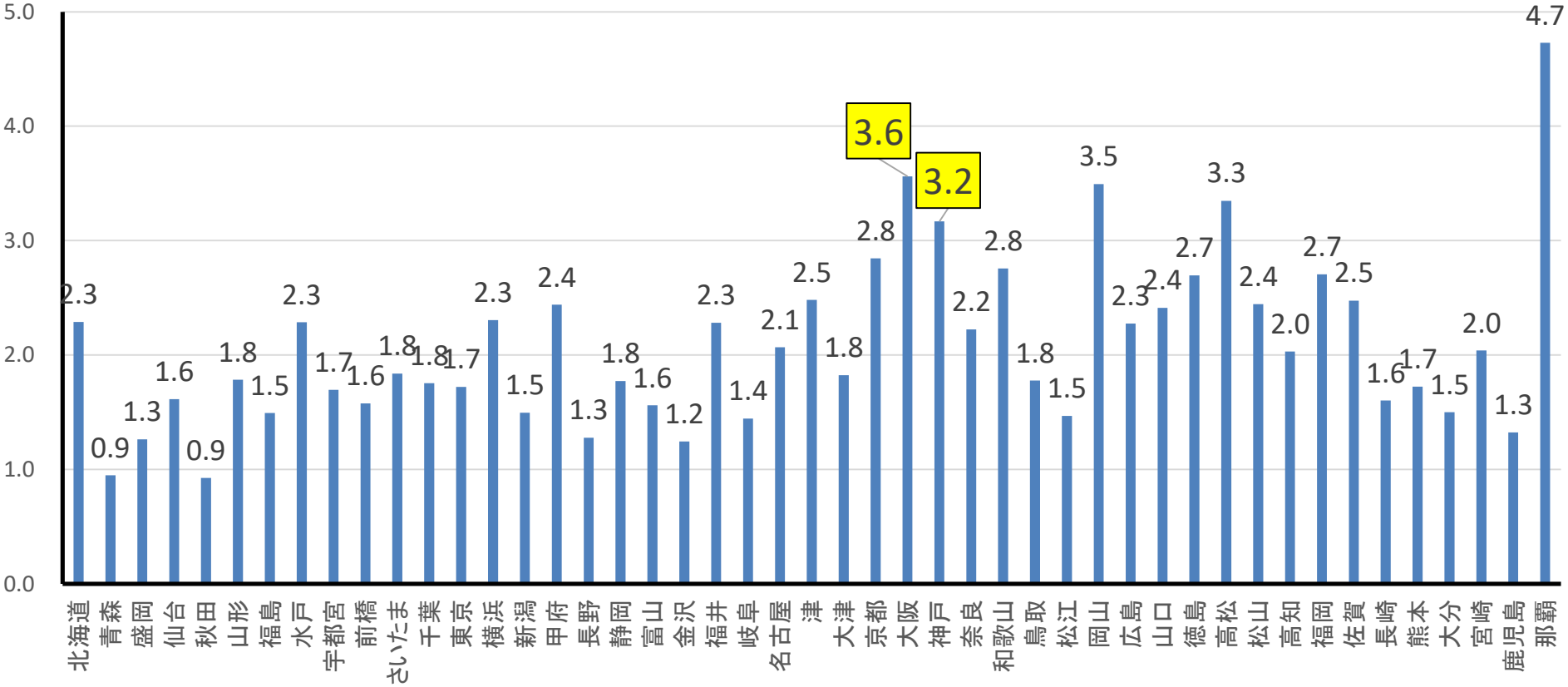
減少率は1号≒1～4号　地域差
減少率　1号＞1～4号

KOSEI SUPPORT PROJECT

保護統計　２　観察所別　開始人員累年比

観察所別　15～19歳人口千人当たり1号観察開始人員（H30）

（注）交通短期保護観察対象者を含む

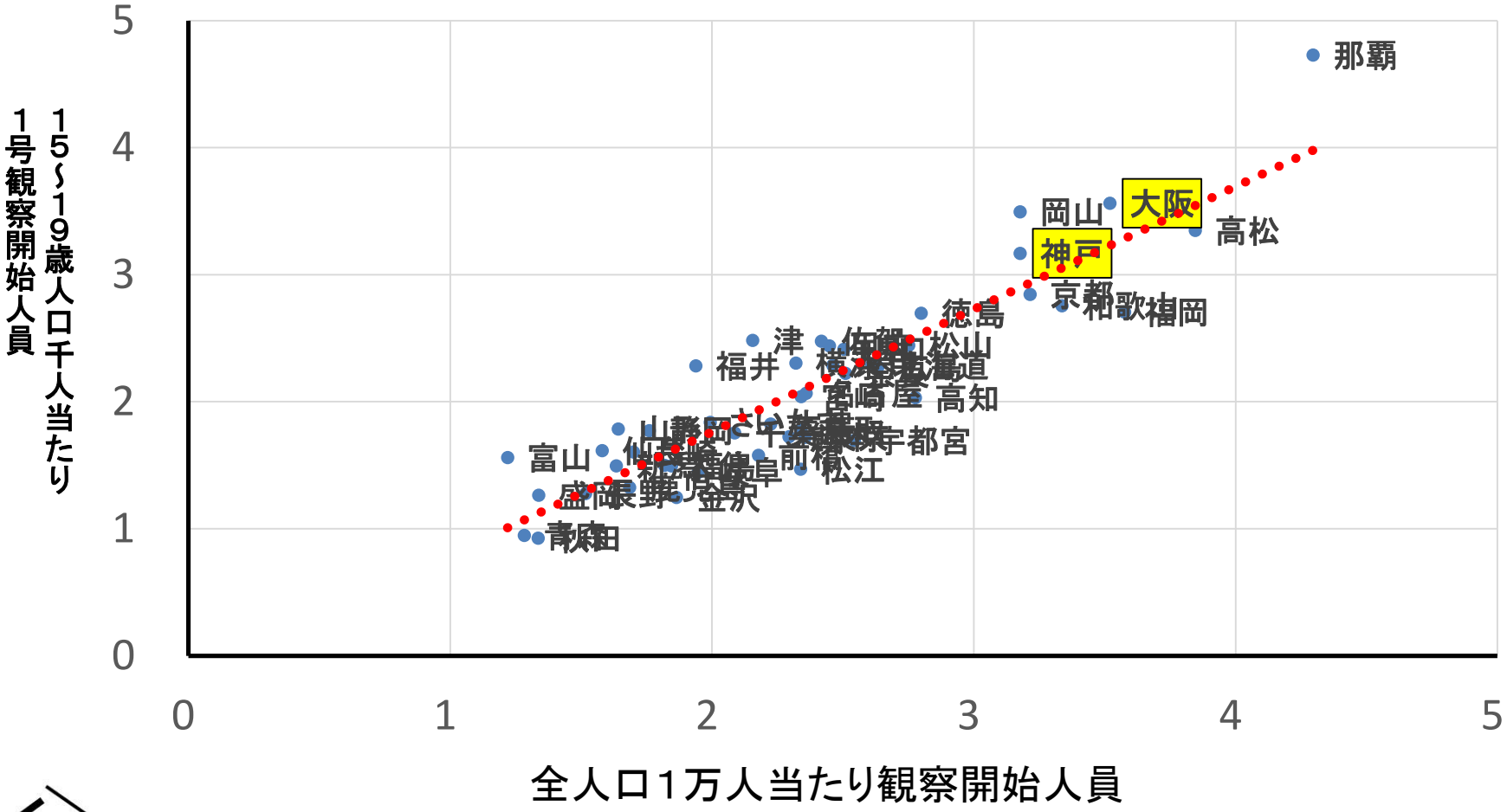


KOSEI SUPPORT PROJECT

人口当たり開始人員
バラツキ大きい

人口推計　第3表　年齢（5歳階級），男女別
保護統計　2　観察所別　開始人員累年比較

観察所別　全人口1万人当たり1～4号観察開始人員
15～19歳人口千人当たり1号観察開始人員（H30）



人口当たり開始人員
1～4号の10倍≒1号

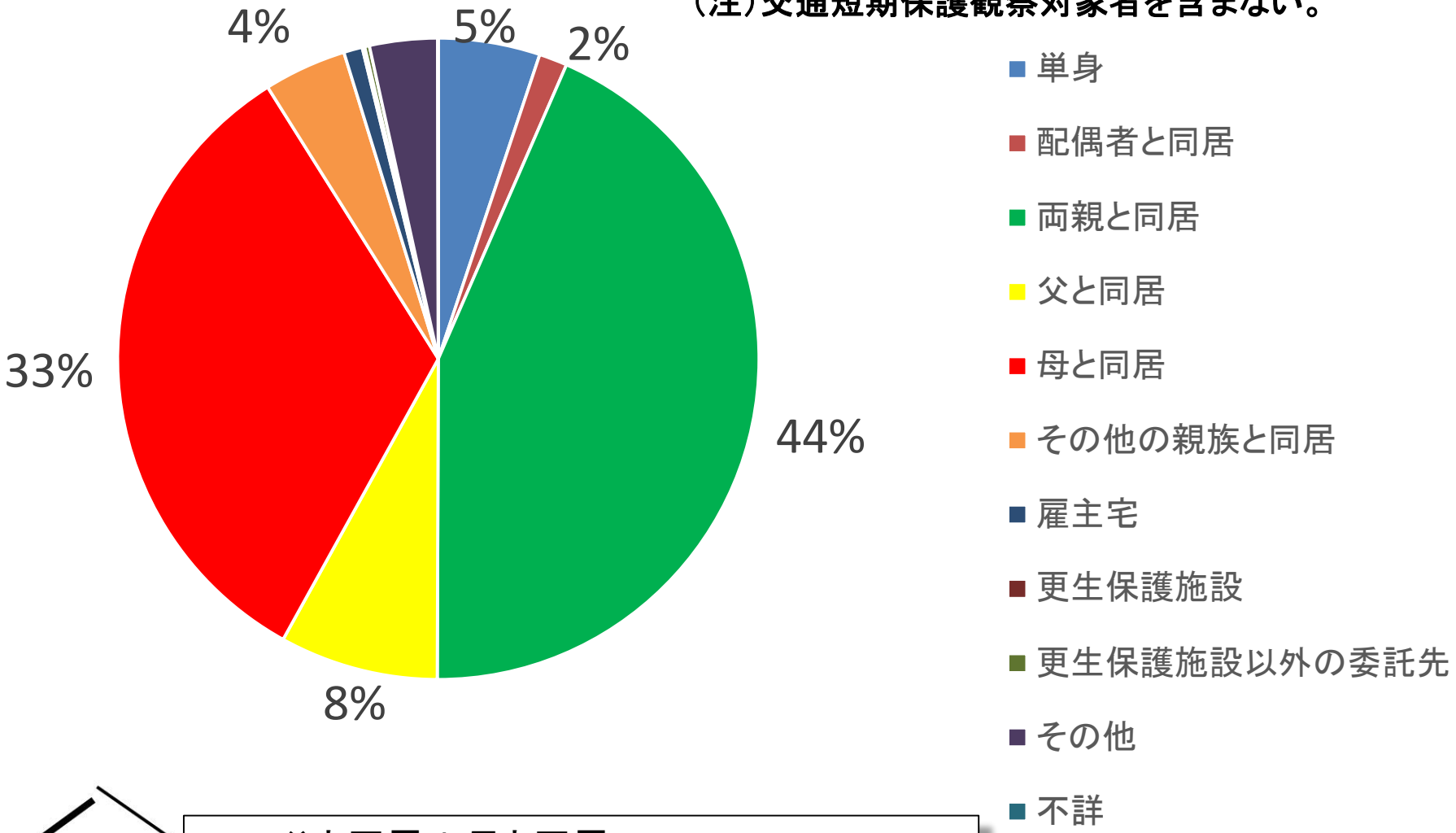
人口推計　第3表　年齢（5歳階級），男女別
保護統計　2　観察所別　開始人員累年比較

KOSEI SUPPORT PROJECT

1号観察開始人員の居住状況（H30）

8，511人

（注）交通短期保護観察対象者を含まない。

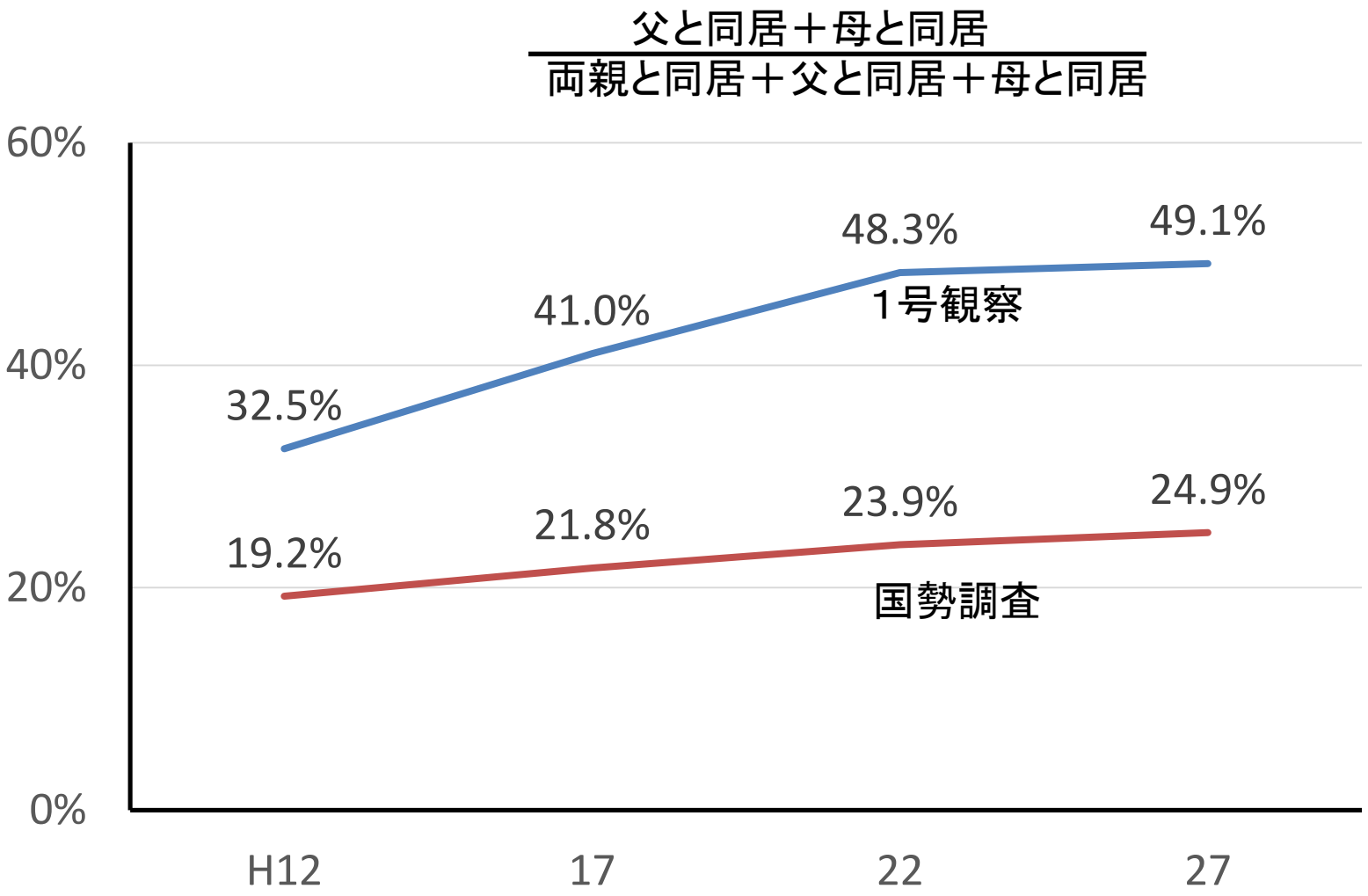


$$\frac{\text{父と同居＋母と同居}}{\text{両親と同居＋父と同居＋母と同居}} = 48,5\%$$

保護統計　13　開始人員の保護観察種別　居住状況

KOSEI SUPPORT PROJECT

1号観察開始人員と国勢調査の居住状況の推移



ひとり親居住：増加
1号観察≒ 国勢調査の2倍

保護統計　13開始人員の保護観察種別居住状況
平成27年国勢調査「世帯構造等基本集計結果」
結果の概要（平成29年9月27日総務省統計局）

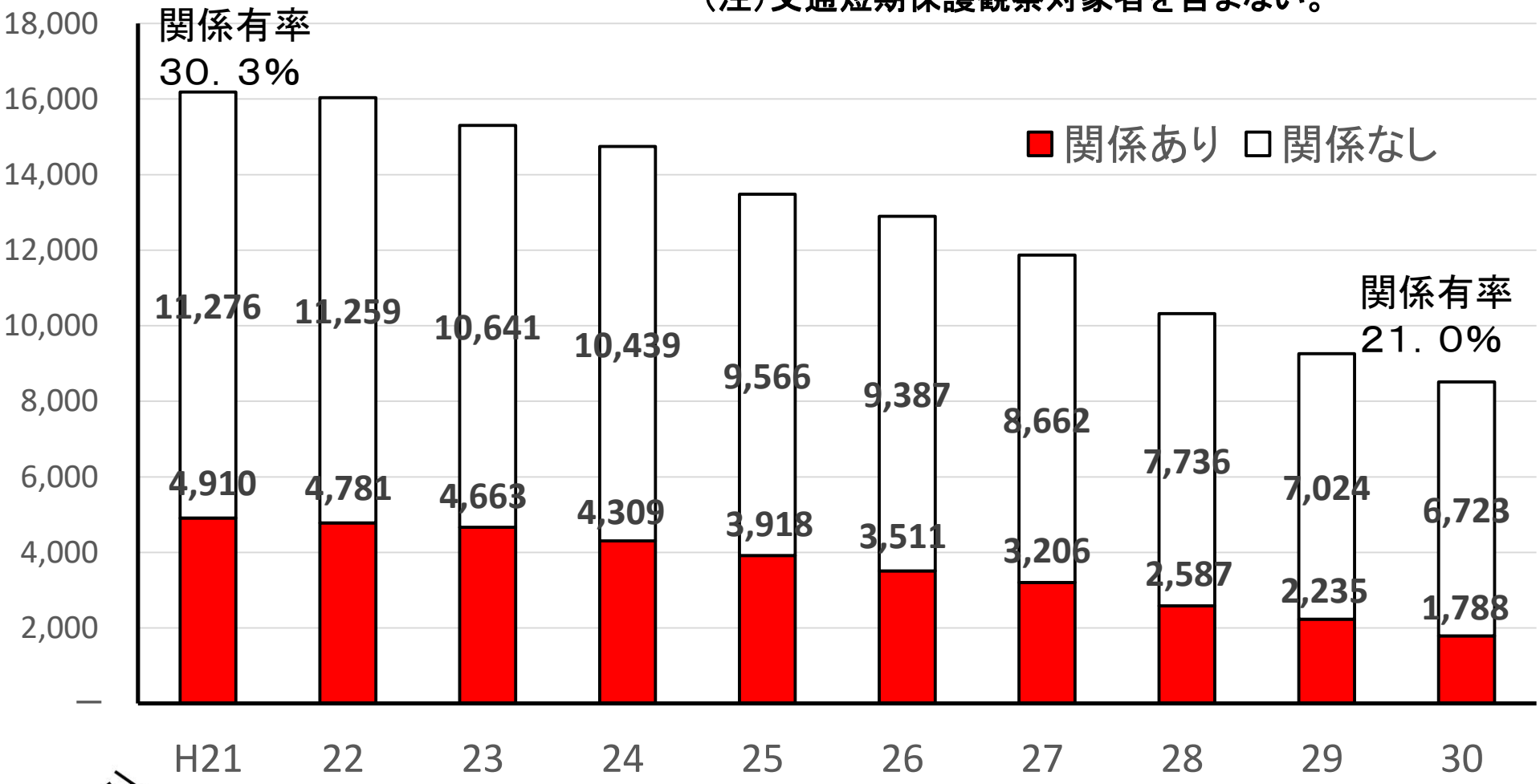
KOSEI SUPPORT PROJECT

保護統計から学ぶ－1

1号観察開始人員の不良集団関係の推移

H30　8，511人

（注）交通短期保護観察対象者を含まない。



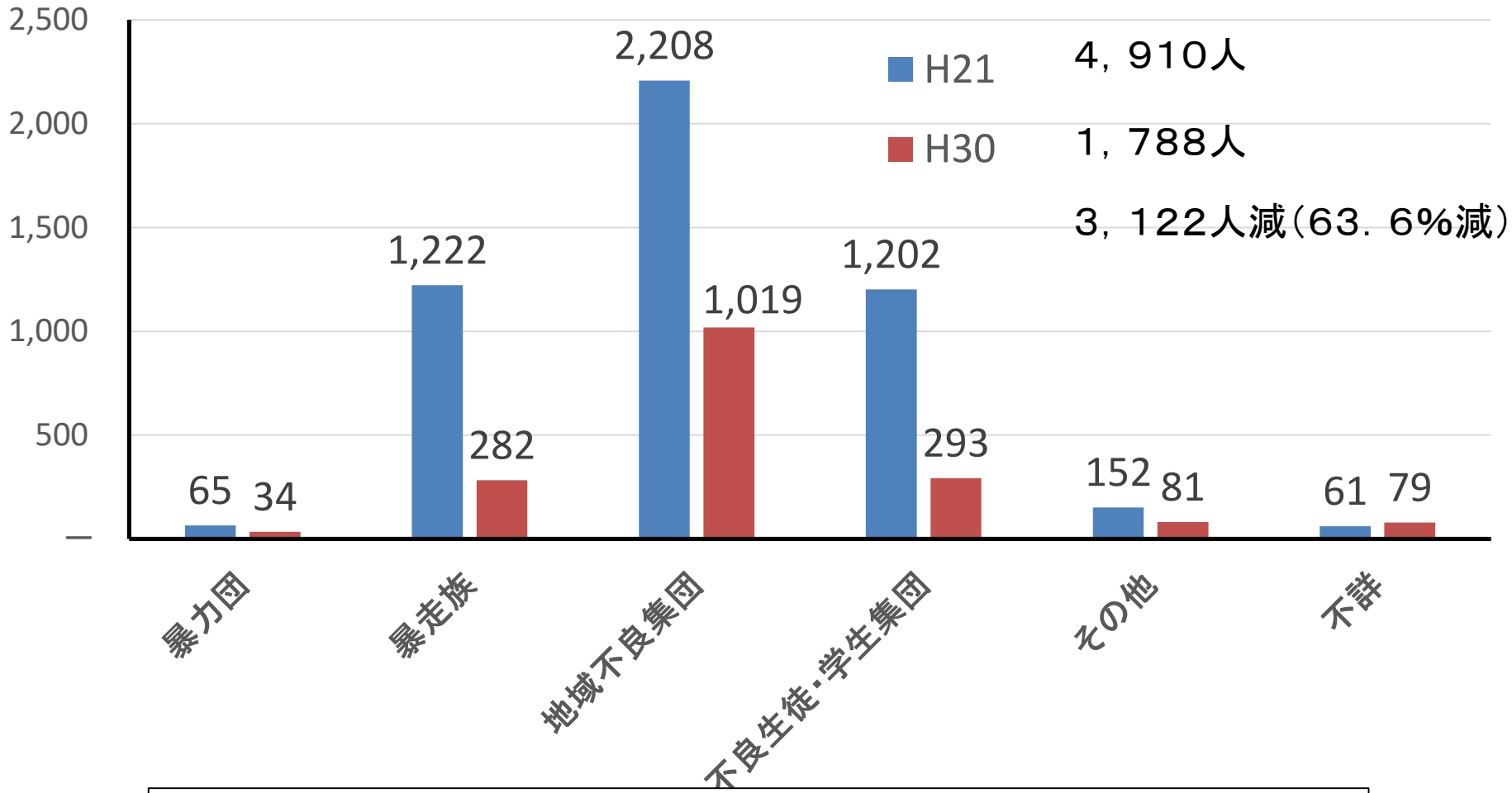
KOSEI SUPPORT PROJECT

関係なし：40．3%減
関係あり：63．6%減

保護統計　22 観察所別　開始人員の不良集団関係

1号観察開始人員の不良集団関係　H21⇒30

（注）交通短期保護観察対象者を含まない。



暴走族、地域不良集団、不良生徒・学生集団それぞれ1，000人減
暴走族、不良生徒・学生集団は75%程度減

KOSEI SUPPORT PROJECT

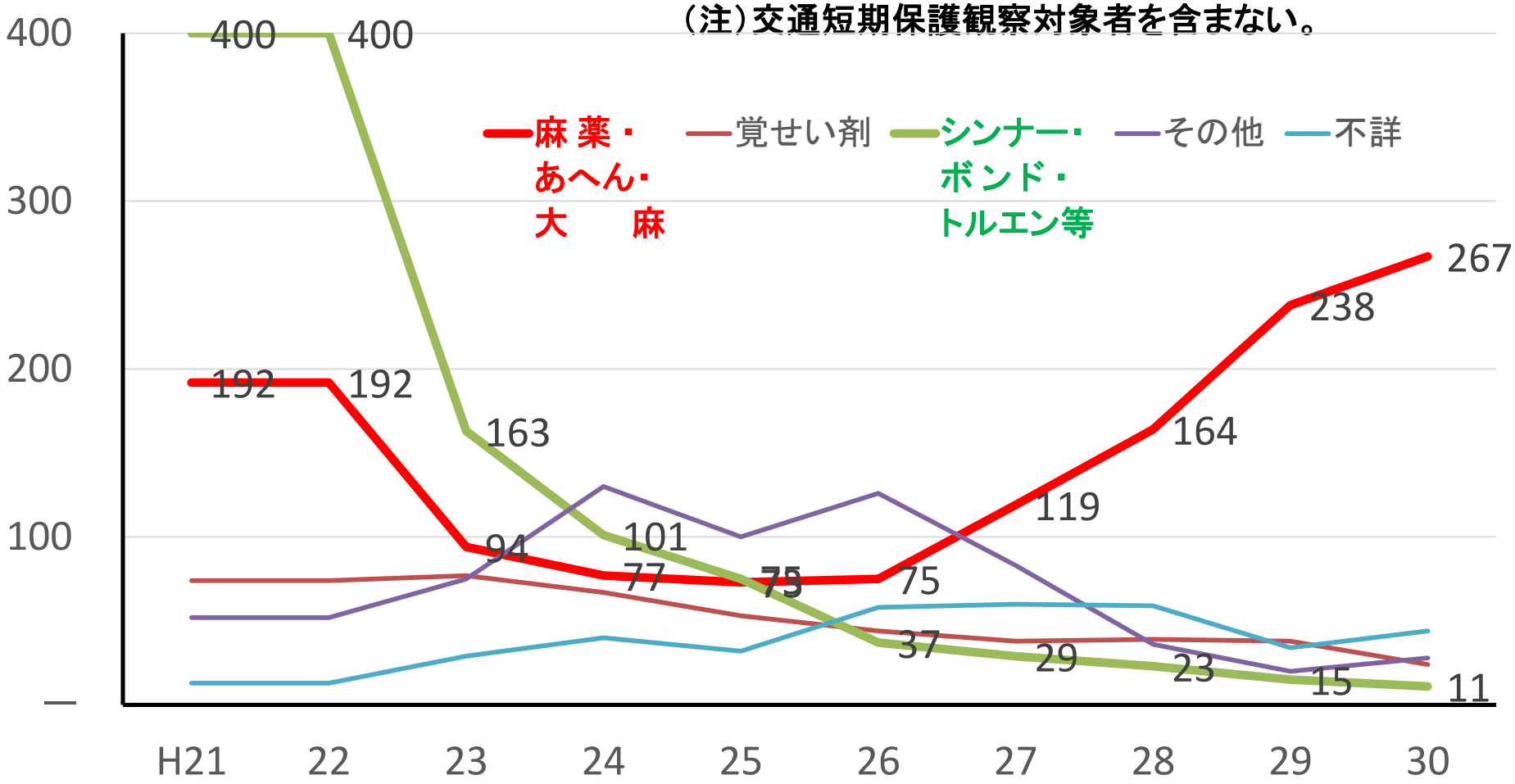
保護統計　22 観察所別　開始人員の不良集団関係

保護統計から学ぶ－1

1号観察開始人員の薬物等使用関係の推移

H30　8，511人

（注）交通短期保護観察対象者を含まない。



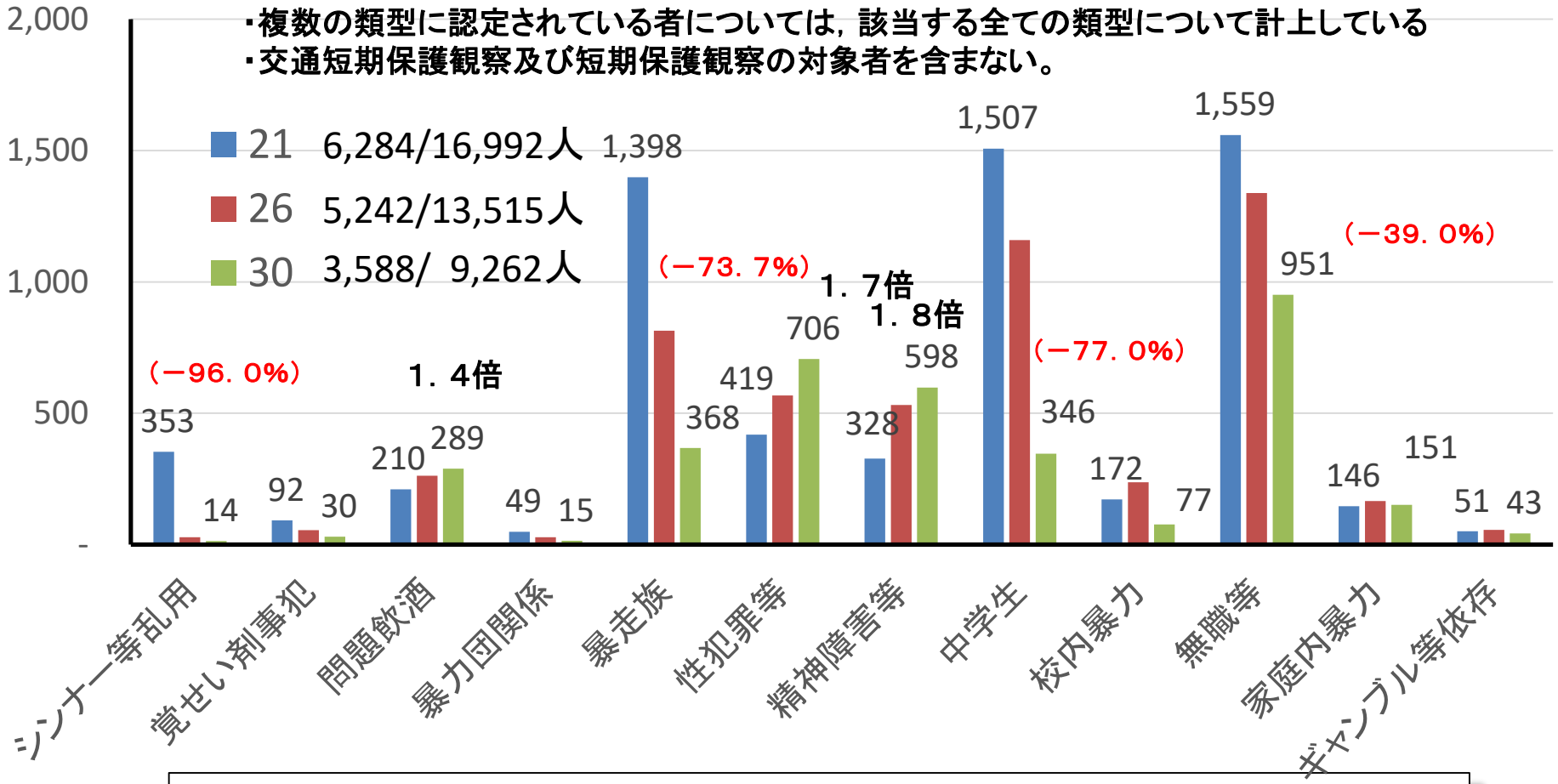
麻薬・あへん・大麻　　：ここ5年で3．5倍増
シンナー・ボンド・トルエン等：10年で1／40の激減

KOSEI SUPPORT PROJECT

保護統計　23 観察所別　開始人員の薬物等使用関係

1号観察対象者の類型認定状況の推移

（注）12月31日現在
・複数の類型に認定されている者については，該当する全ての類型について計上している
・交通短期保護観察及び短期保護観察の対象者を含まない。



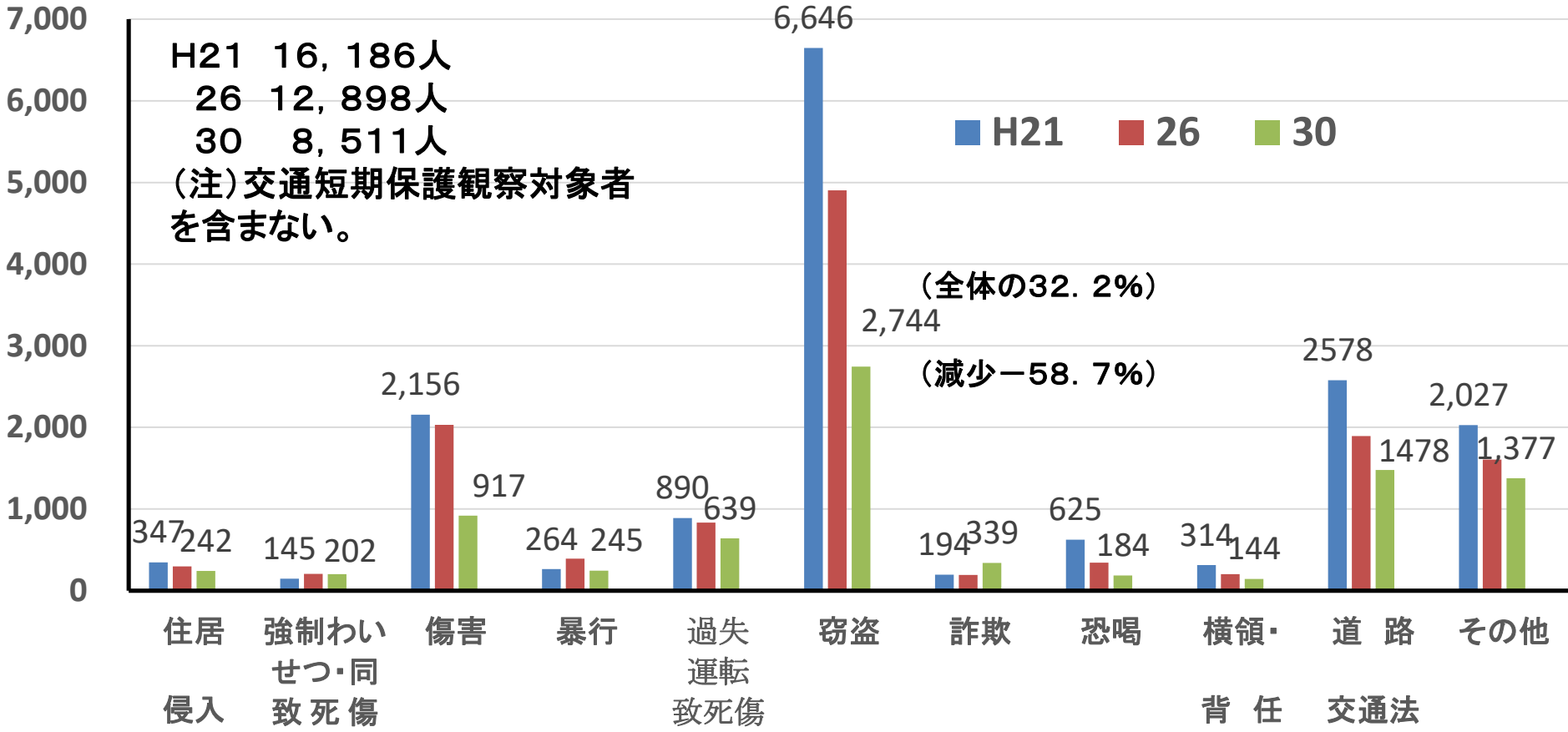
激減　：　シンナー等乱用（－96．0%）、暴走族（－73．7%）、
　　中学生（－77．0%）、無職等（－39．0%）
激増　：　問題飲酒（1．4倍）、性犯罪等（1．7倍）、精神障害等（1．8倍）

犯罪白書　少年の保護観察対象者の類型認定状況

KOSEI SUPPORT PROJECT

1号観察開始人員の非行名推移

（注）複数の罪（非行）を犯した場合は最も重い罪（非行）で計上）

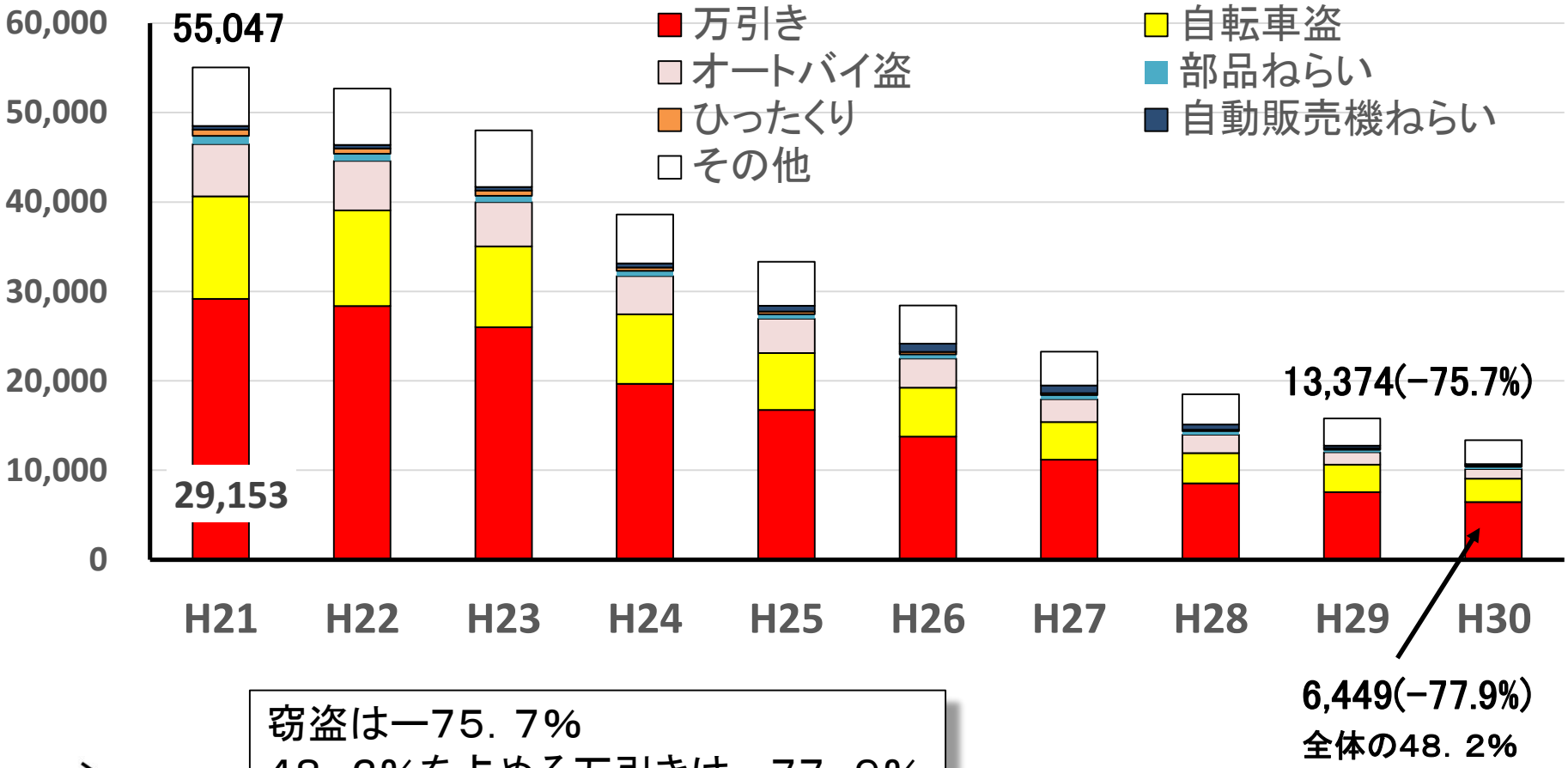


窃盗：H30の32．2%が窃盗で、H21から減少率－58．7%

KOSEI SUPPORT PROJECT

保護統計　8　観察所別　1号観察開始人員の非行名

14～19歳　窃盗（内訳）における検挙人員の推移



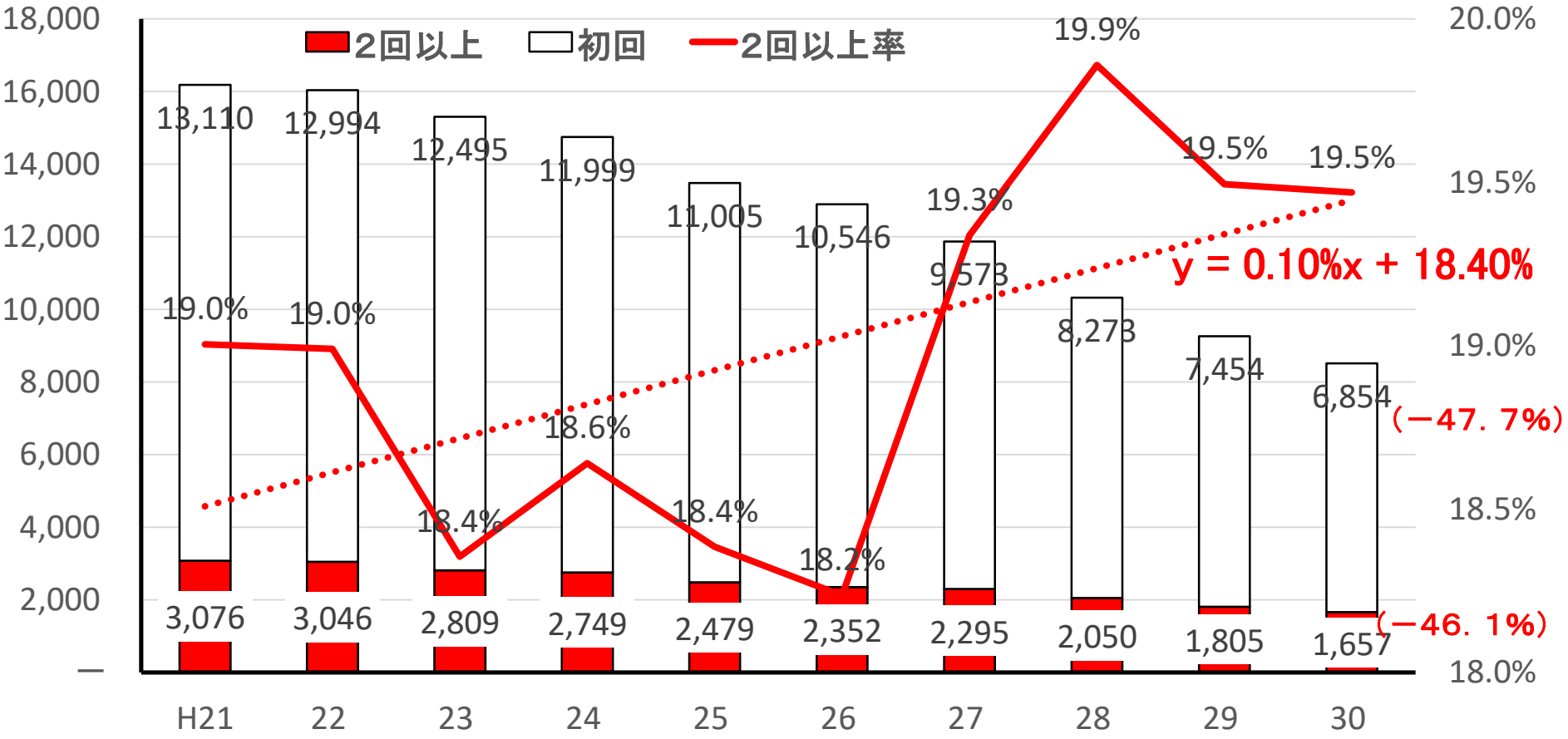
窃盗は−75．7%
48．2%を占める万引きは−77．9%

警察庁HP　統計　犯罪情勢　図表：3－1－2（主な罪種・手口における少年検挙人員H21-H30の推移）

KOSEI SUPPORT PROJECT

1号観察開始人員の保護観察回数の推移

（注）交通短期保護観察対象者を含まない。



初回47．7%減、2回以上46．1%減
2回以上0．1%／年の増

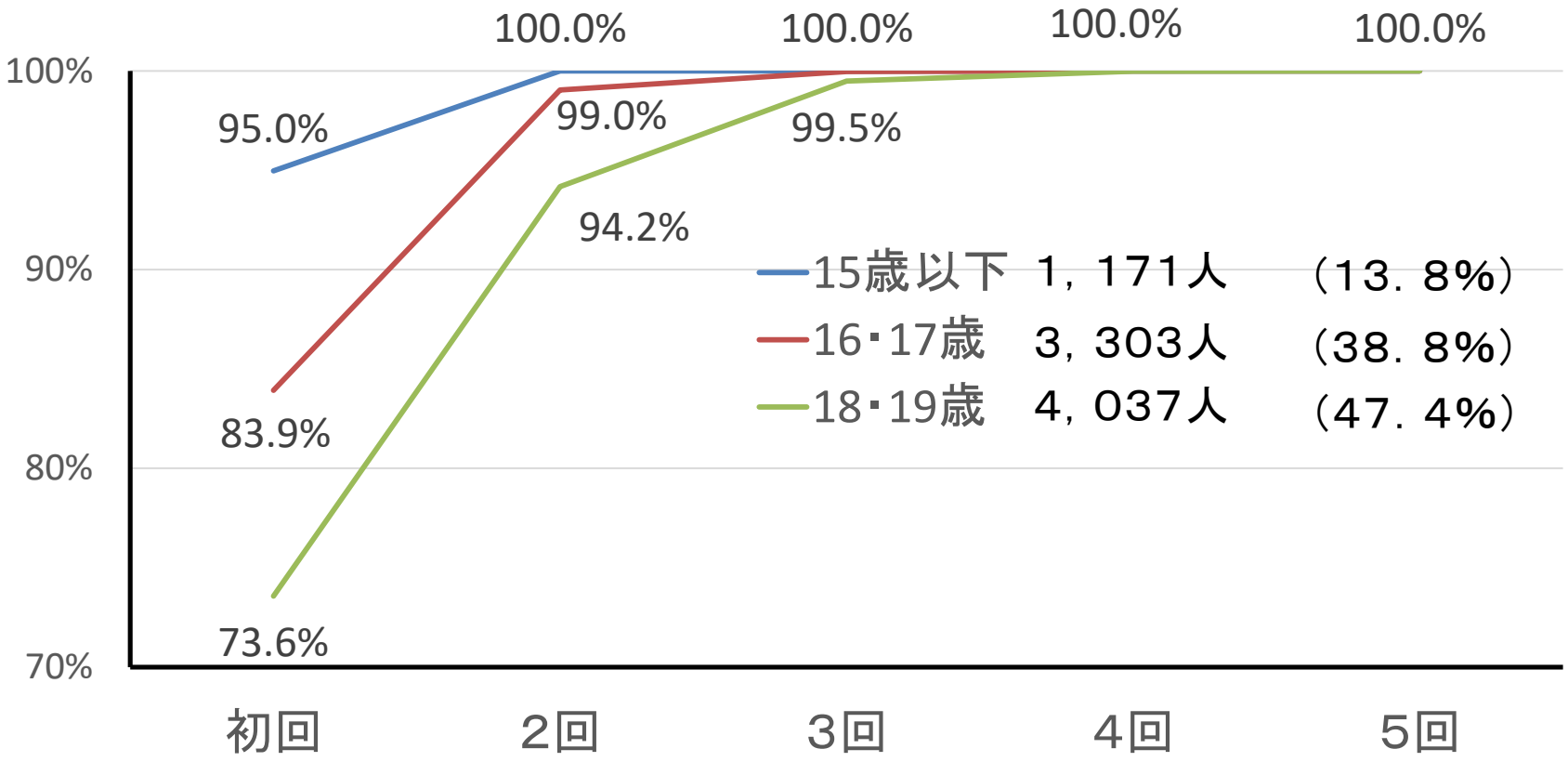
KOSEI SUPPORT PROJECT

保護統計　20　開始人員の年齢別　保護観察回数

1号観察開始人員の年齢別保護観察回数（H30）

8，511人

（注）交通短期保護観察対象者を含まない。



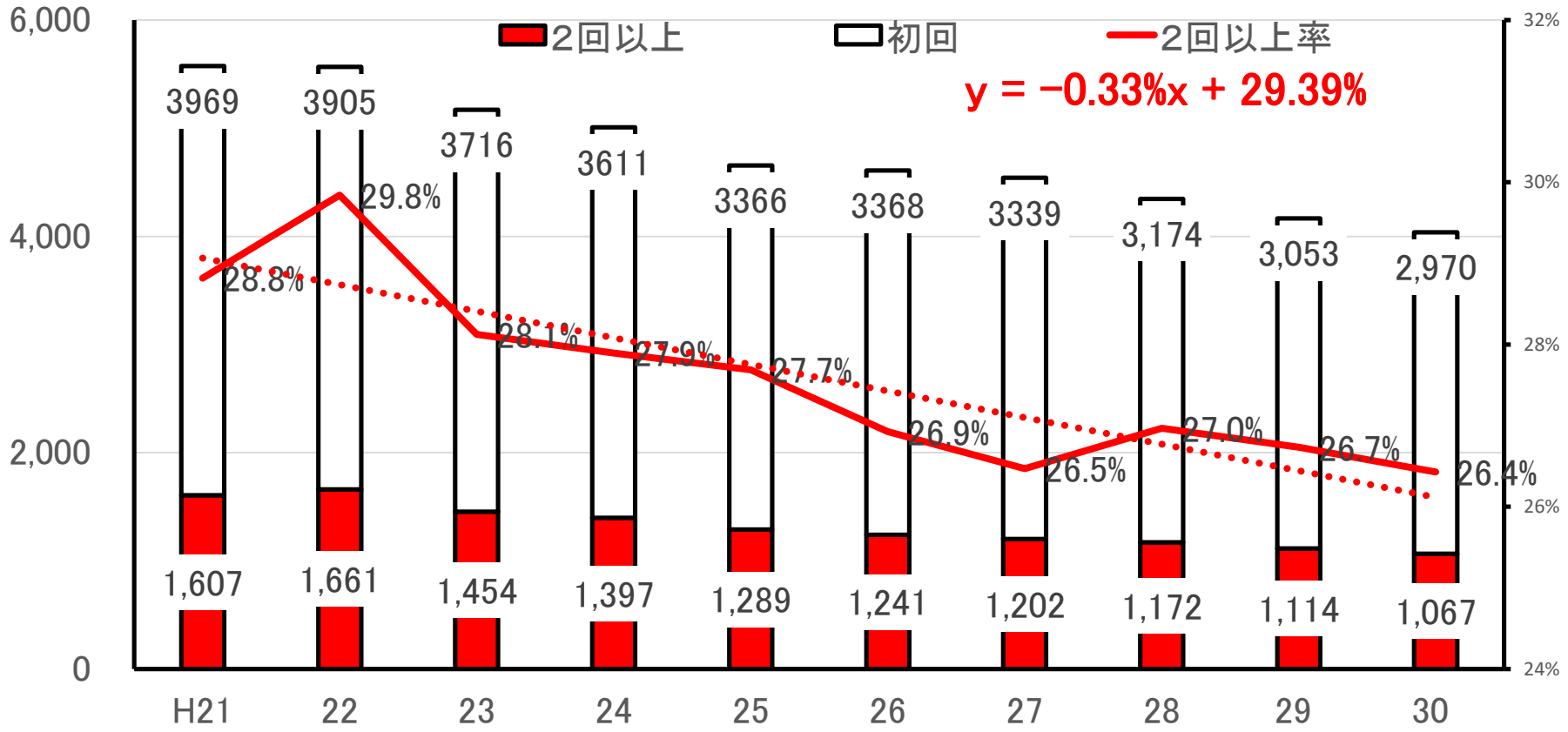
47．4%の年長で、2回以上26．4%

KOSEI SUPPORT PROJECT

保護統計 20 開始人員の年齢別 保護観察回数

1号観察開始人員の18･19歳　保護観察回数

（注）交通短期保護観察対象者を含まない。



2回以上　０．３％／年の減

KOSEI SUPPORT PROJECT

保護統計　20　開始人員の年齢別　保護観察回数

保護統計から学ぶ－１　まとめ

H21から10年間で

〇1号観察開始人員

減少率　－50．4%

観察所別　－30～－80%

居住状況　ひとり親同居率H22　32．5%⇒H27　49．1%

国勢調査のH22　1．7倍　⇒H27　2．0倍

不良集団関係　関係あり　－63，6%

暴走族、不良生徒・学生集団　－75%

薬物等使用関係　麻薬・あへん・大麻ここ5年で3．5倍増

シンナー等10年で　1／40の激減

類型認定状況　シンナー等乱用　－96．0%

暴走族　－73．7%

中学生　－77．0%

無職等　－39．0%

問題飲酒　1．4倍

性犯罪等　1．7倍

精神障害等　1．8倍

非行名　H30の32．2%が窃盗　－58．7%

保護観察回数　初回　－47．7%　2回以上－46．1%

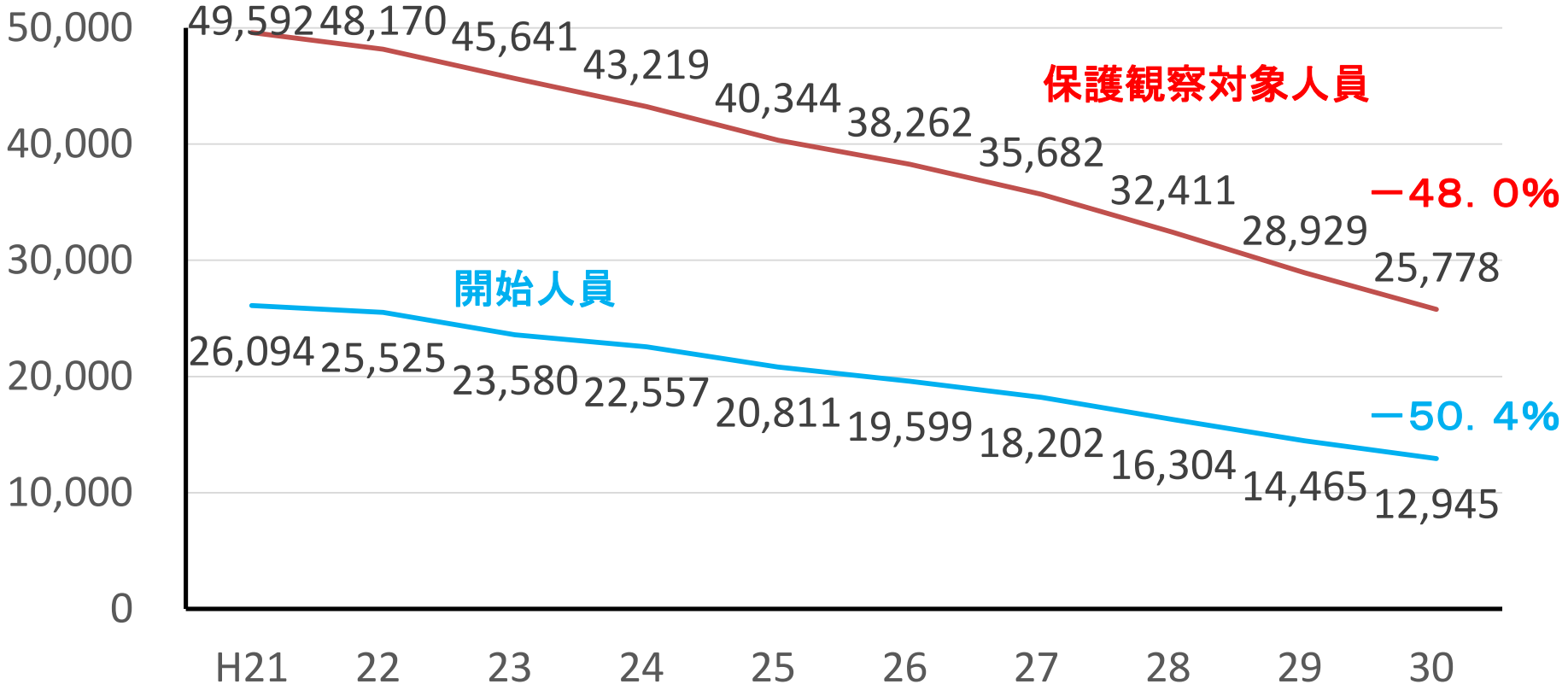
2回以上　0．1%／年の増

18・19歳では　－0．3%／年の減

KOSEI SUPPORT PROJECT

１号観察　開始人員と保護観察対象人員の推移

（注）交通短期保護観察対象者を含む
保護観察対象人員＝前年末現在保護観察中人員＋保護観察開始人員



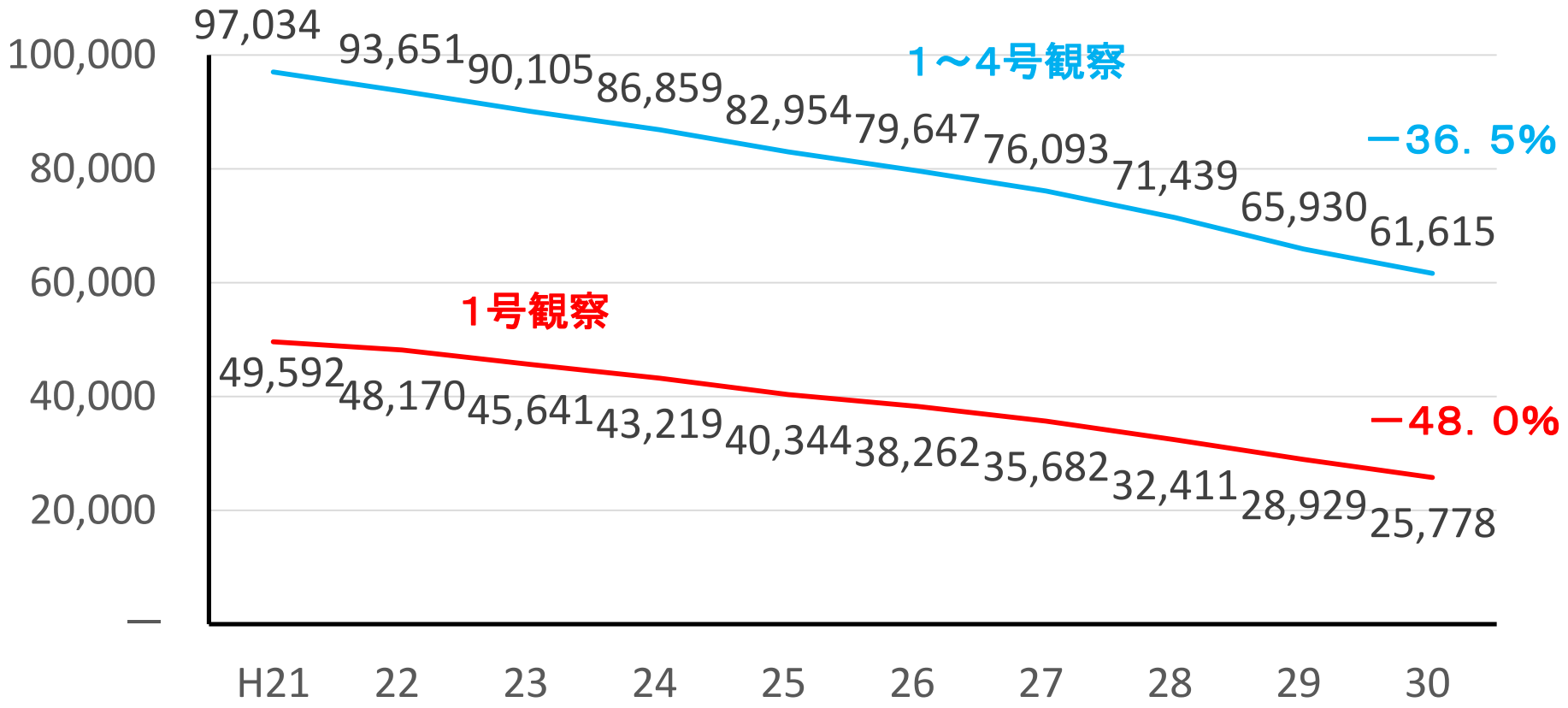
開始人員－50．4%　保護観察対象人員－48．0%

KOSEI SUPPORT PROJECT

保護統計　１　保護観察の開始及び終了人員等累年比較

１号と1～4号観察　保護観察対象人員の推移

（注）交通短期保護観察対象者を含む
保護観察対象人員＝前年末現在保護観察中人員＋保護観察開始人員

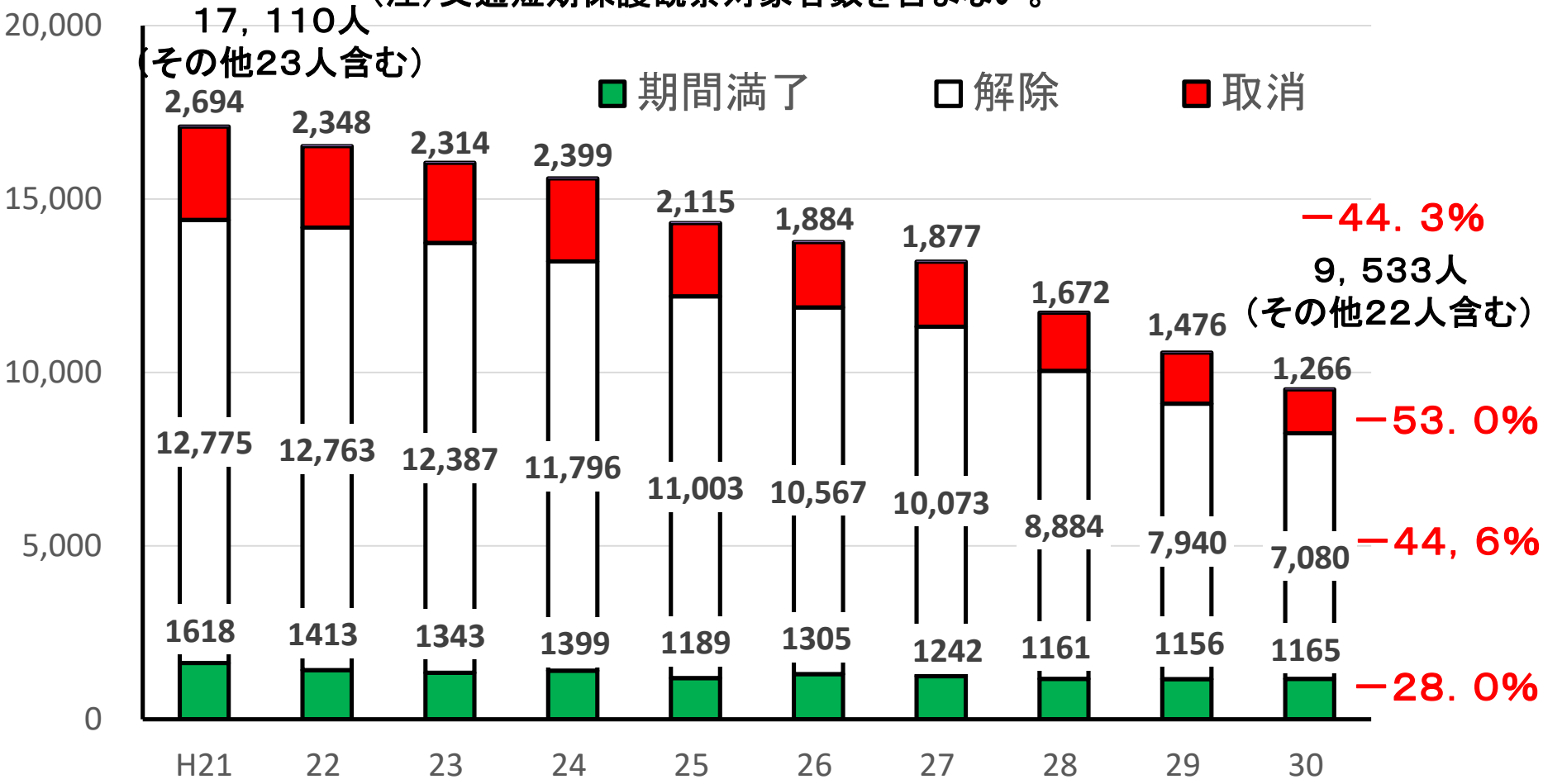


１号観察－48．0%　＞　１～4号観察－36．5%

KOSEI SUPPORT PROJECT

１号観察終了者　終了事由の推移

（注）交通短期保護観察対象者数を含まない。



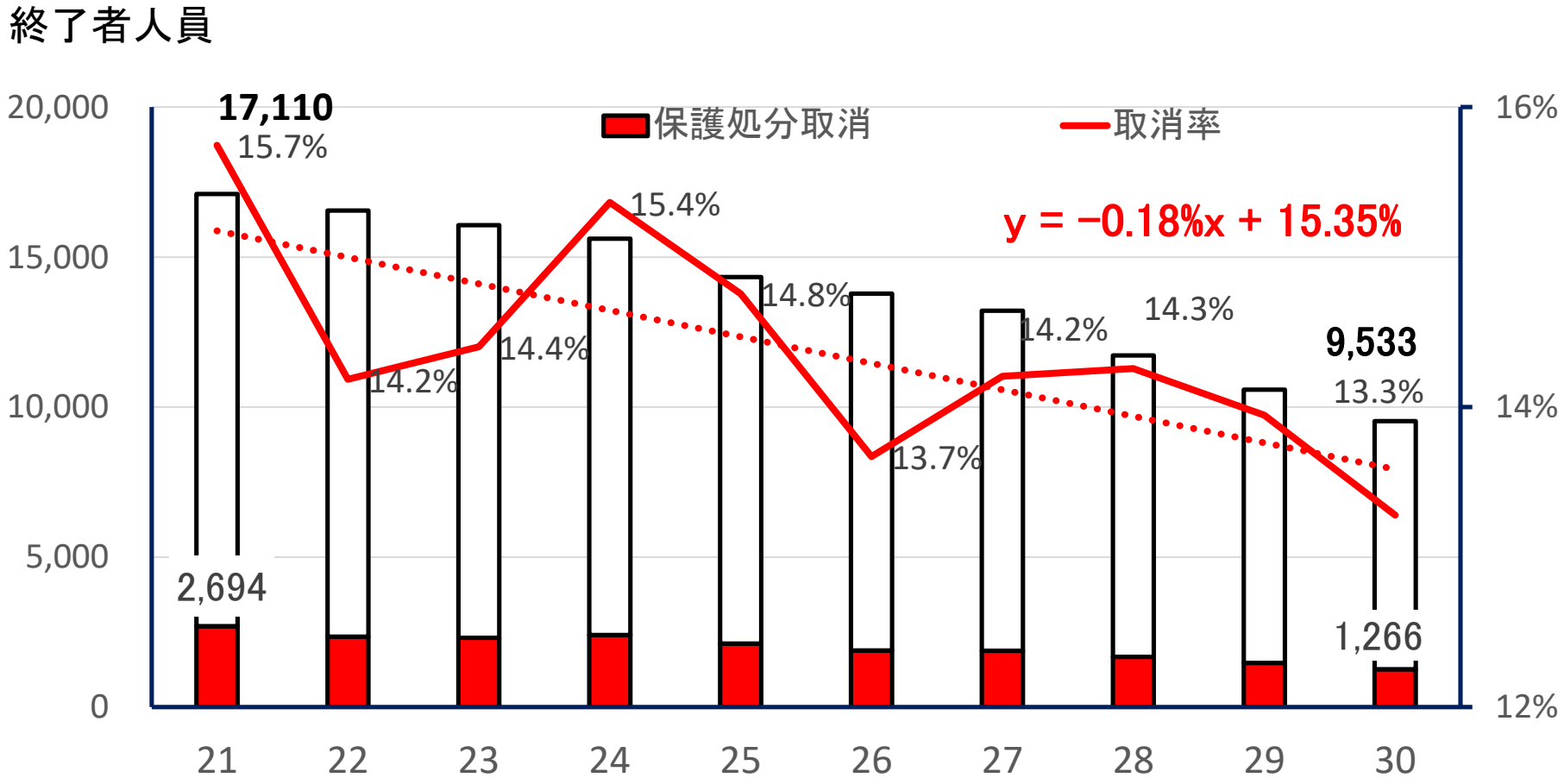
観察終了者人員　－44．3%
取消 －53．0%〉解除－44，6%　＞　期間満了－28．0%

KOSEI SUPPORT PROJECT

保護統計　25　保護観察終了者の終了事由･終了時状況別　累年比較

１号観察終了者　保護処分取消率の推移

（注）交通短期保護観察対象者を含まない。



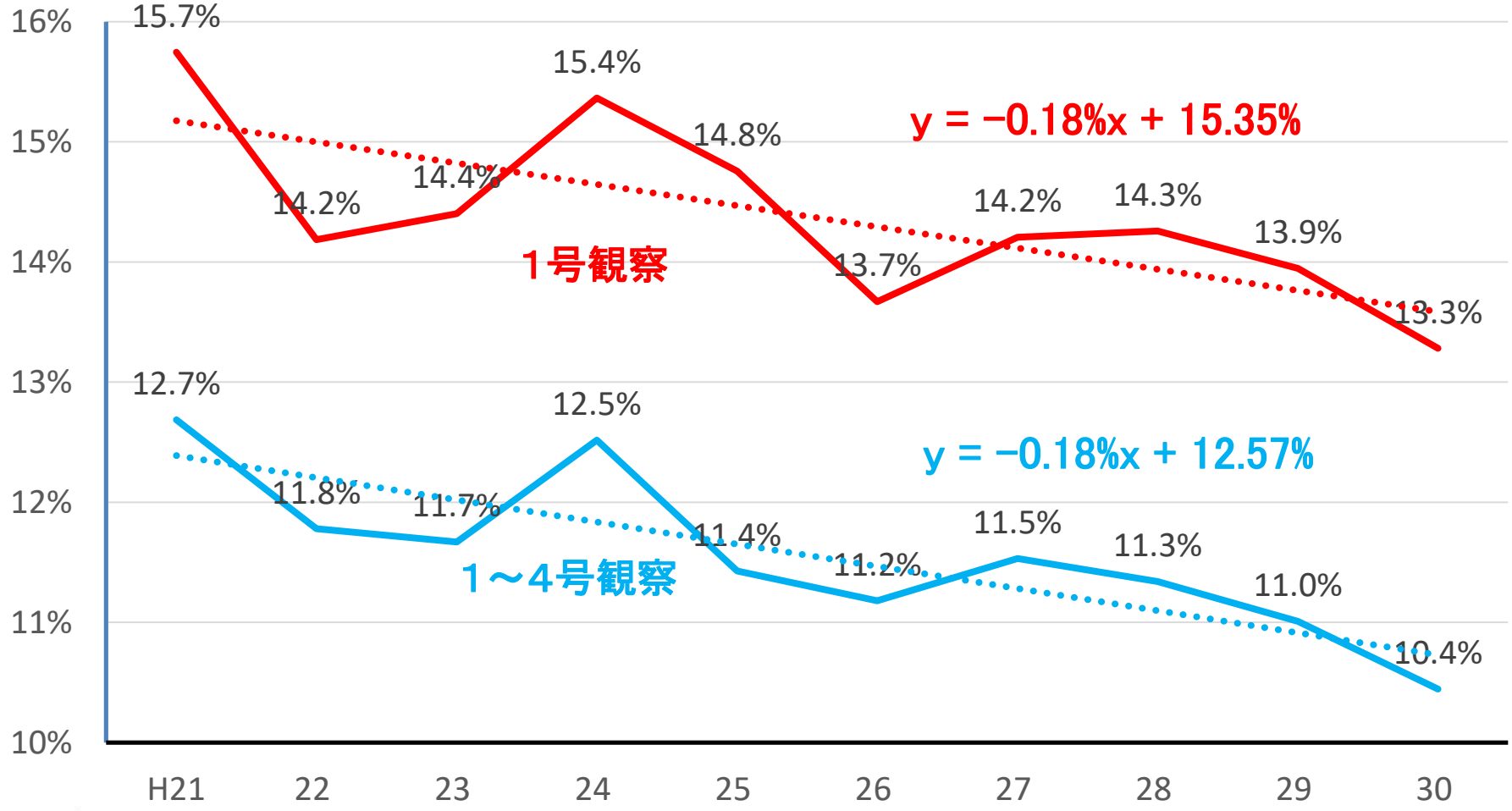
－０．１８％／年の減　H30　１３．３％

KOSEI SUPPORT PROJECT

保護統計　２５　保護観察終了者の終了事由・終了時状況別　　累年比較

１号と1～4号観察終了者　保護処分取消率の推移

（注）交通短期保護観察対象者を含まない。



－０．１８％／年　　H30　１号観察１３．３％　＞　１～4号観察１０．４％

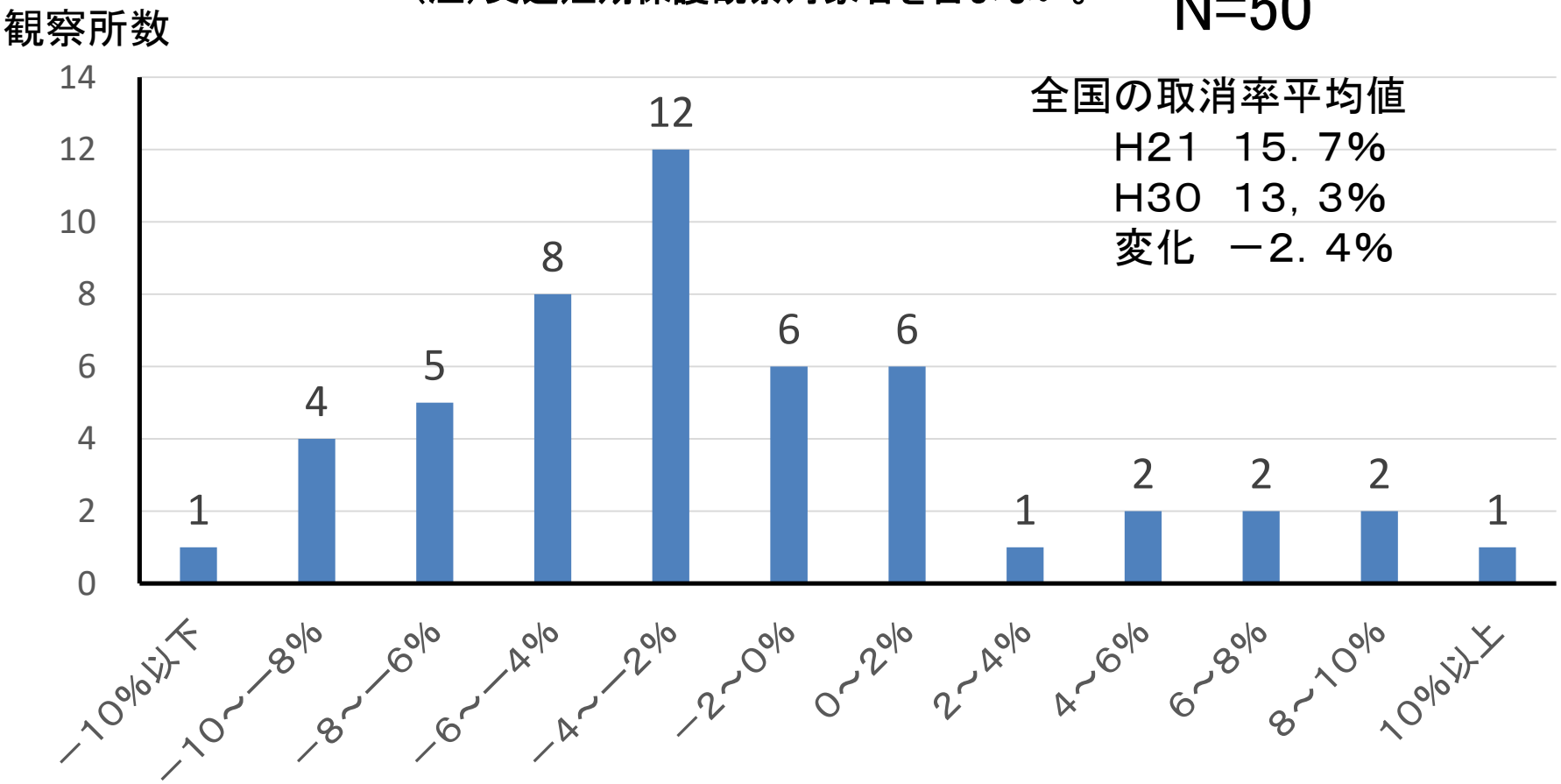
KOSEI SUPPORT PROJECT

保護統計　２５　保護観察終了者の終了事由・終了時状況別　　累年比較

観察所別　１号観察終了者の保護処分取消率
H21⇒30変化

（注）交通短期保護観察対象者を含まない。

N=50



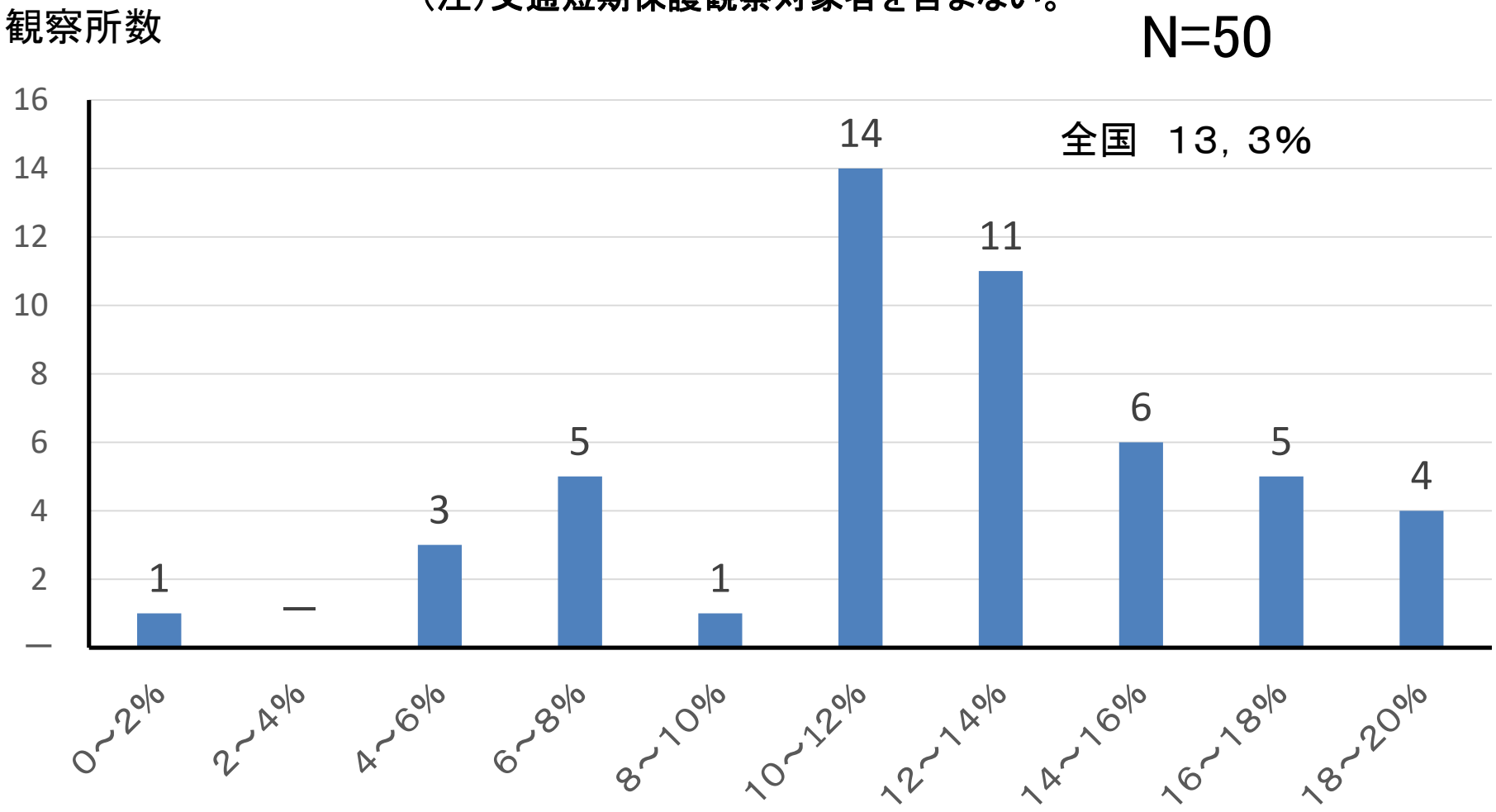
－10%から10%　最頻値　－4～－2%

KOSEI SUPPORT PROJECT

保護統計　26　観察所別　保護観察終了者の終了事由及び終了時状況

観察所別　1号観察終了者の保護処分取消率（H30）

（注）交通短期保護観察対象者を含まない。



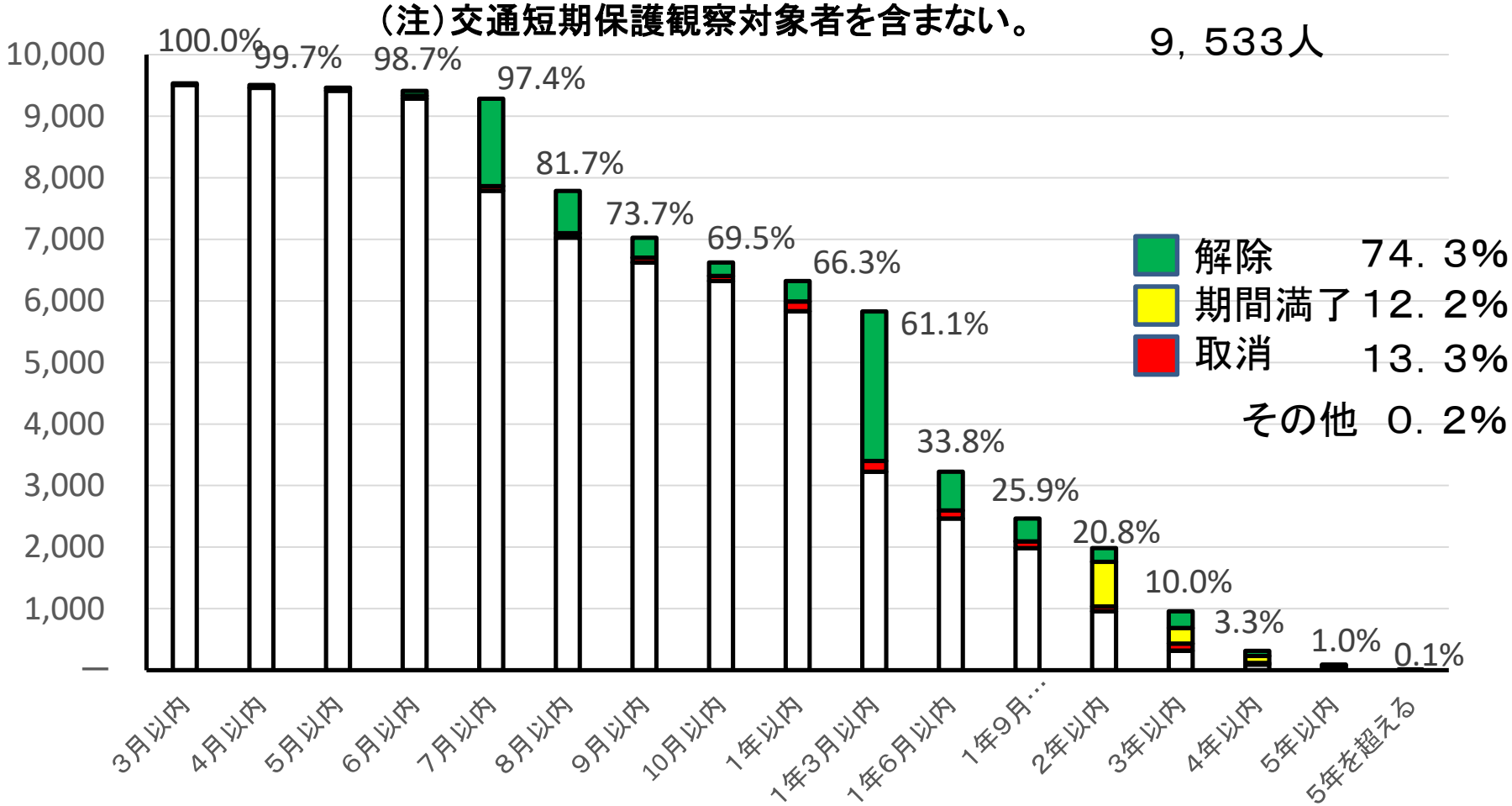
0から20%　　最頻値　10～12%

KOSEI SUPPORT PROJECT

保護統計　26　観察所別　　保護観察終了者の終了事由及び終了時状況

1号観察終了者の終了事由　経過期間推移（H30）

（注）交通短期保護観察対象者を含まない。



解除：7月以内と1年3月以内で大幅増　　期間満了：2年以内で大幅増
取消：各期間で

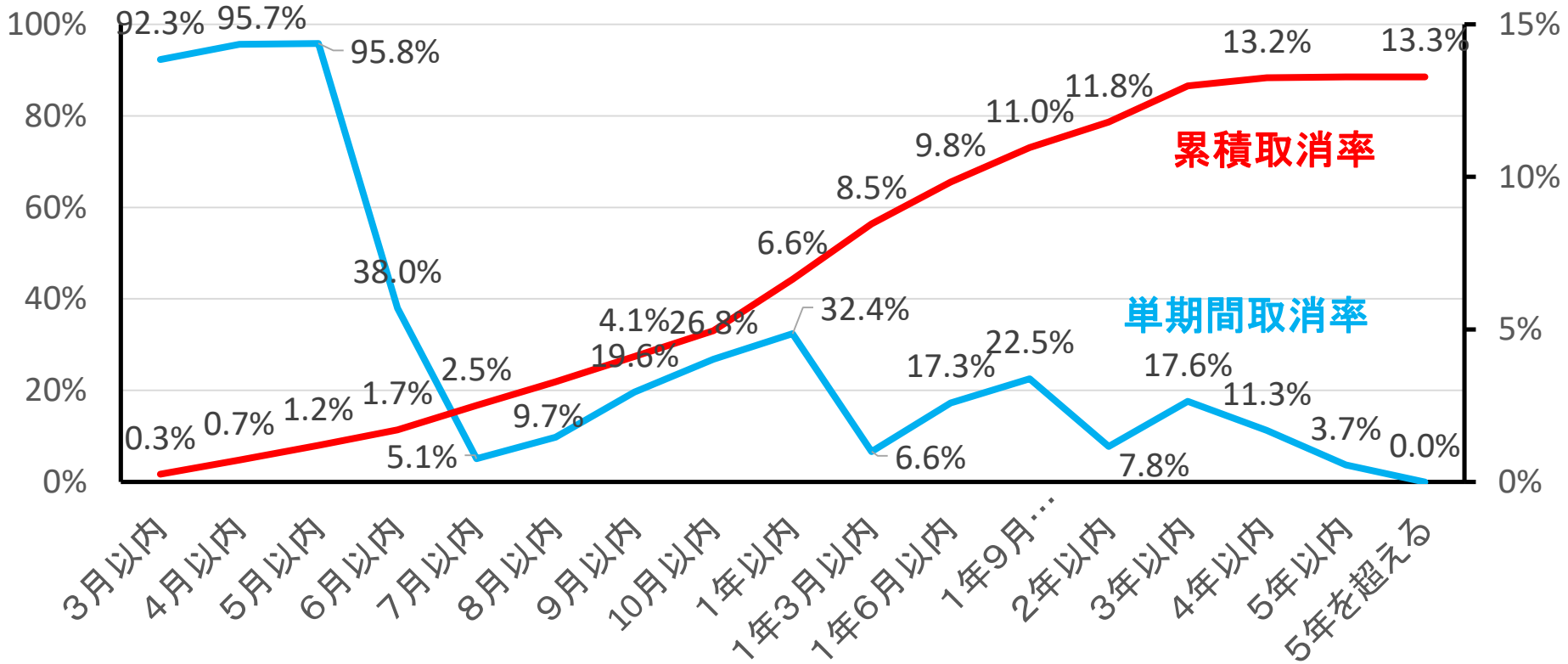
KOSEI SUPPORT PROJECT

保護統計　27　1号及び2号観察終了者の終了事由・終了時状況別経過期間

1号観察終了者の経過期間別　保護処分取消率（H30）

（注）交通短期保護観察対象者を含まない。

9，533人　平均　13．3%

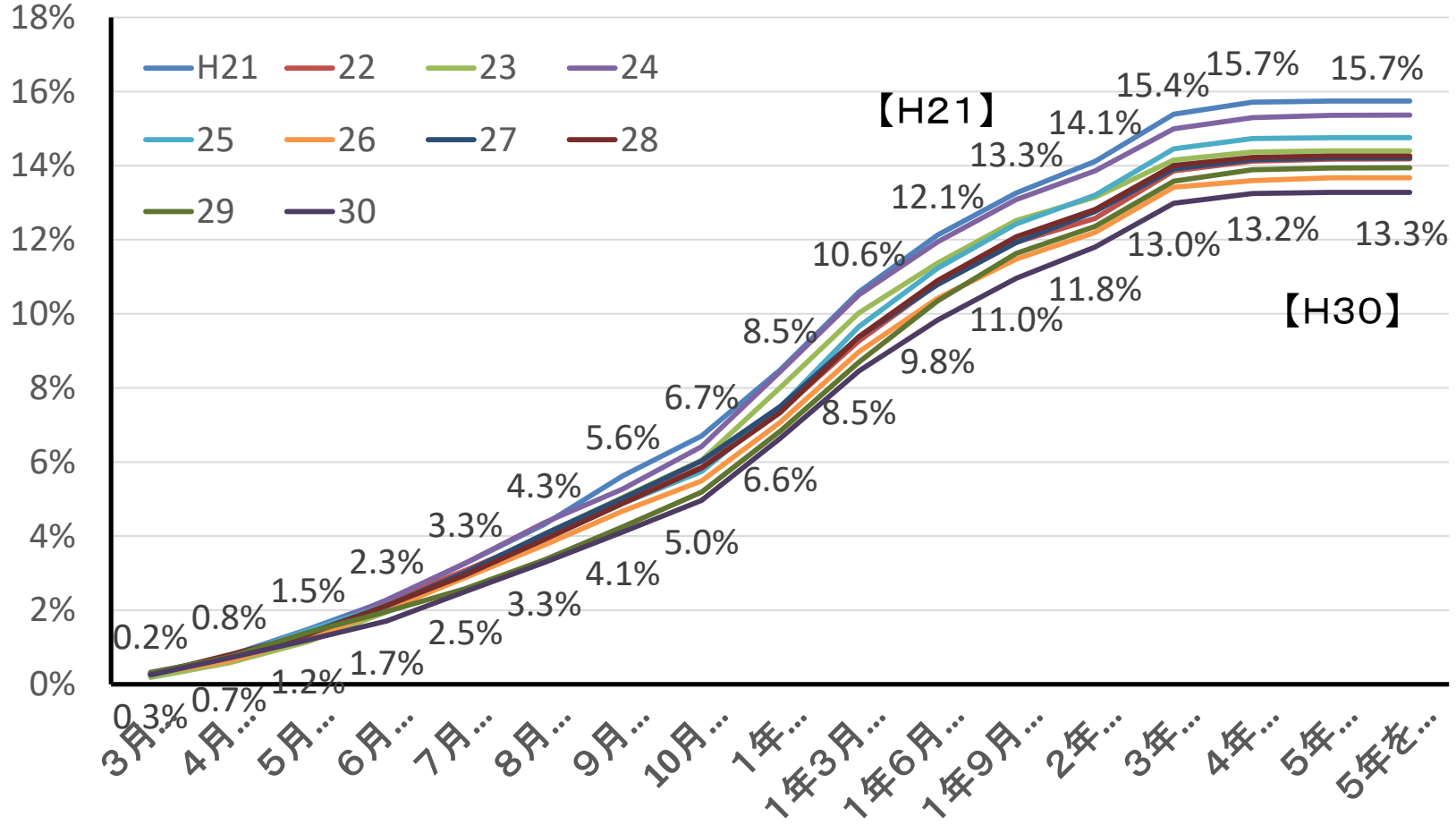


累積：なめらか
単期間：取消率が低い期間
⇒7月以内と1年3月以内は解除増、2年以内は期間満了像

KOSEI SUPPORT PROJECT

１号観察終了者の経過期間別　保護処分取消率（累積）の推移

（注）交通短期保護観察対象者を含まない。

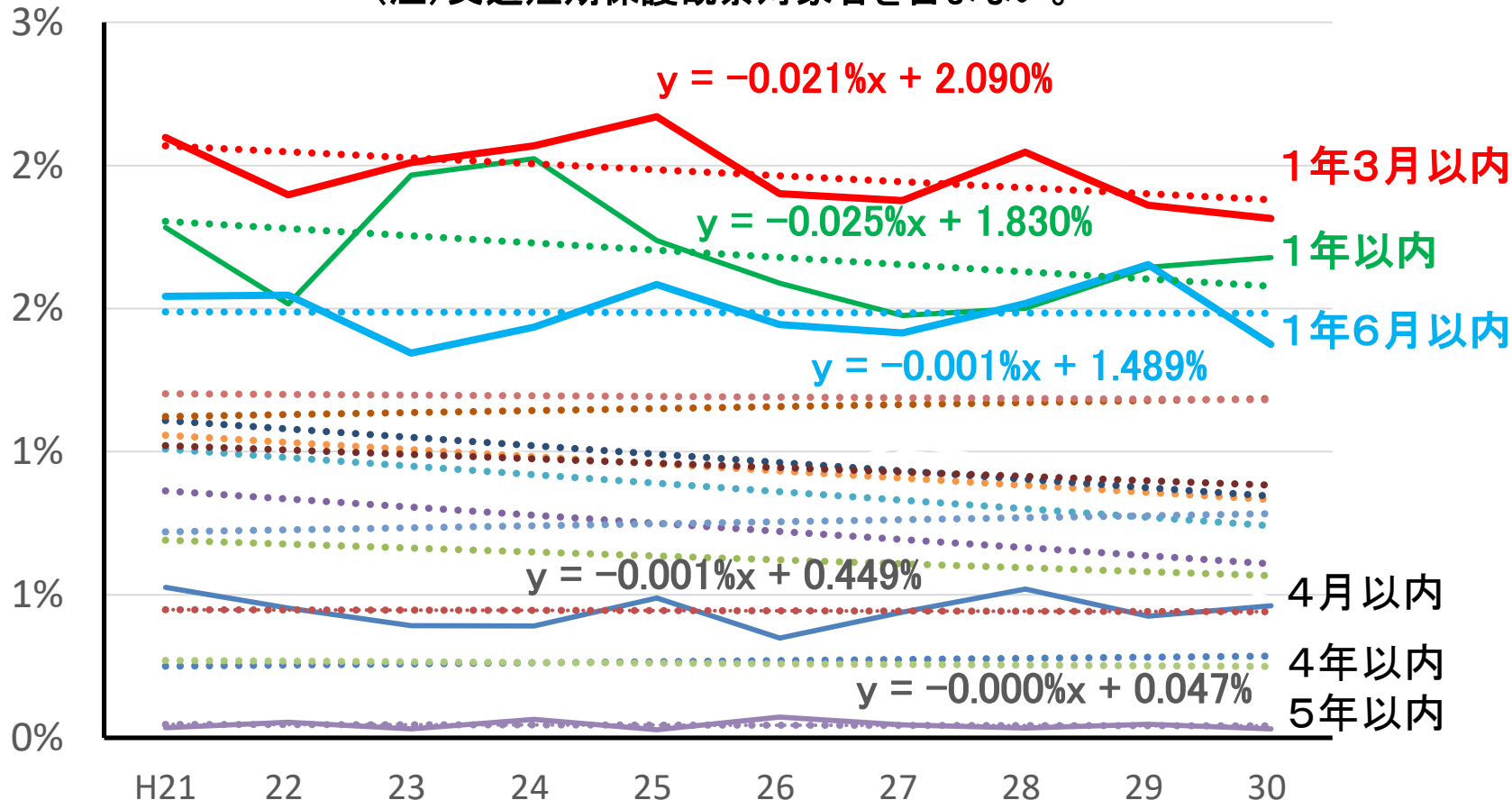


H21とH30の取消率（累計）の差　　１年以内　－１，９%、５年　－２，４%

KOSEI SUPPORT PROJECT

１号観察終了者の経過期間別　保護処分取消率（単年）の推移

（注）交通短期保護観察対象者を含まない。



１年以内、１年３月以内	－０．０２％／年
これ以外	－０，００１％／年

KOSEI SUPPORT PROJECT

保護統計　２７　１号及び2号観察終了者の終了事由・終了時状況別経過期間

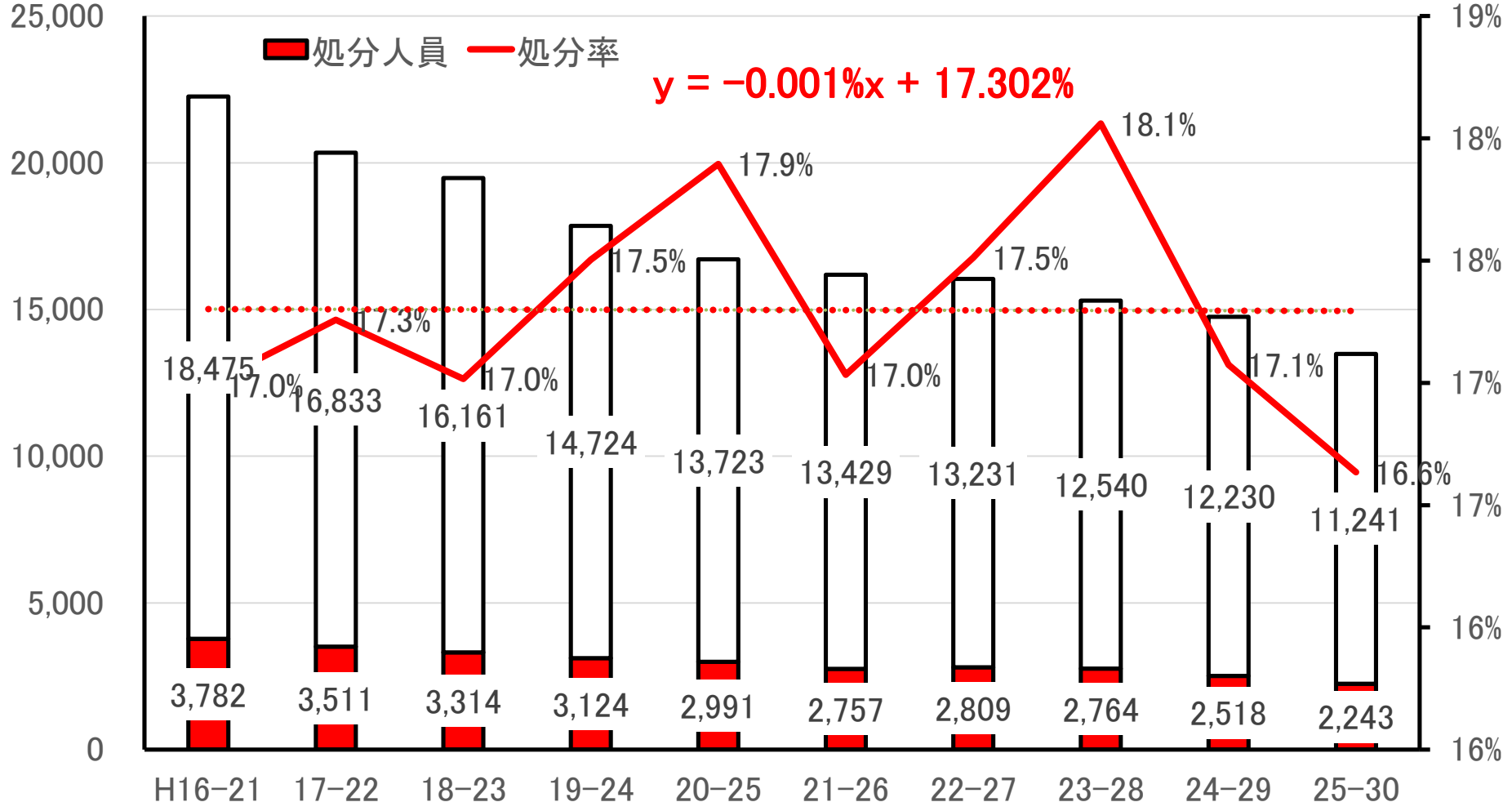
１号観察に付されたものの成り行き調査

このグラフは，保護観察を開始した日から5年以内に保護観察中の非行により保護処分又は刑事処分（起訴猶予を含む。）を受けたものを年次別に計上したものである。（交通短期保護観察対象者の数は含まない。）

保護観察に付されたもの		保護観察中の非行により刑事処分又は保護処分を受けたもの																(B)/(A)(%)
年次	開始人員(A)	平成16年	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	計(B)	
平成16年	22,257	625	1,877	1,032	194	41	13	－	－	－	－	－	－	－	－	－	3,782	16.99
17	20,344	－	618	1,772	848	195	57	21	－	－	－	－	－	－	－	－	3,511	17.26
18	19,475	－	－	595	1,638	816	207	48	10	－	－	－	－	－	－	－	3,314	17.02
19	17,848	－	－	－	572	1,533	769	189	44	17	－	－	－	－	－	－	3,124	17.50
20	16,714	－	－	－	－	488	1,544	746	146	62	5	－	－	－	－	－	2,991	17.90
21	16,186	－	－	－	－	－	493	1,380	666	171	39	8	－	－	－	－	2,757	17.03
22	16,040	－	－	－	－	－	－	451	1,390	760	173	31	4	－	－	－	2,809	17.51
23	15,304	－	－	－	－	－	－	－	451	1,451	683	140	32	7	－	－	2,764	18.06
24	14,748	－	－	－	－	－	－	－	－	477	1,222	619	157	36	7	－	2,518	17.07
25	13,484	－	－	－	－	－	－	－	－	－	400	1,085	593	121	36	8	2,243	16.63

KOSEI SUPPORT PROJECT

１号観察に付されたものの成り行き調査（累積）の推移

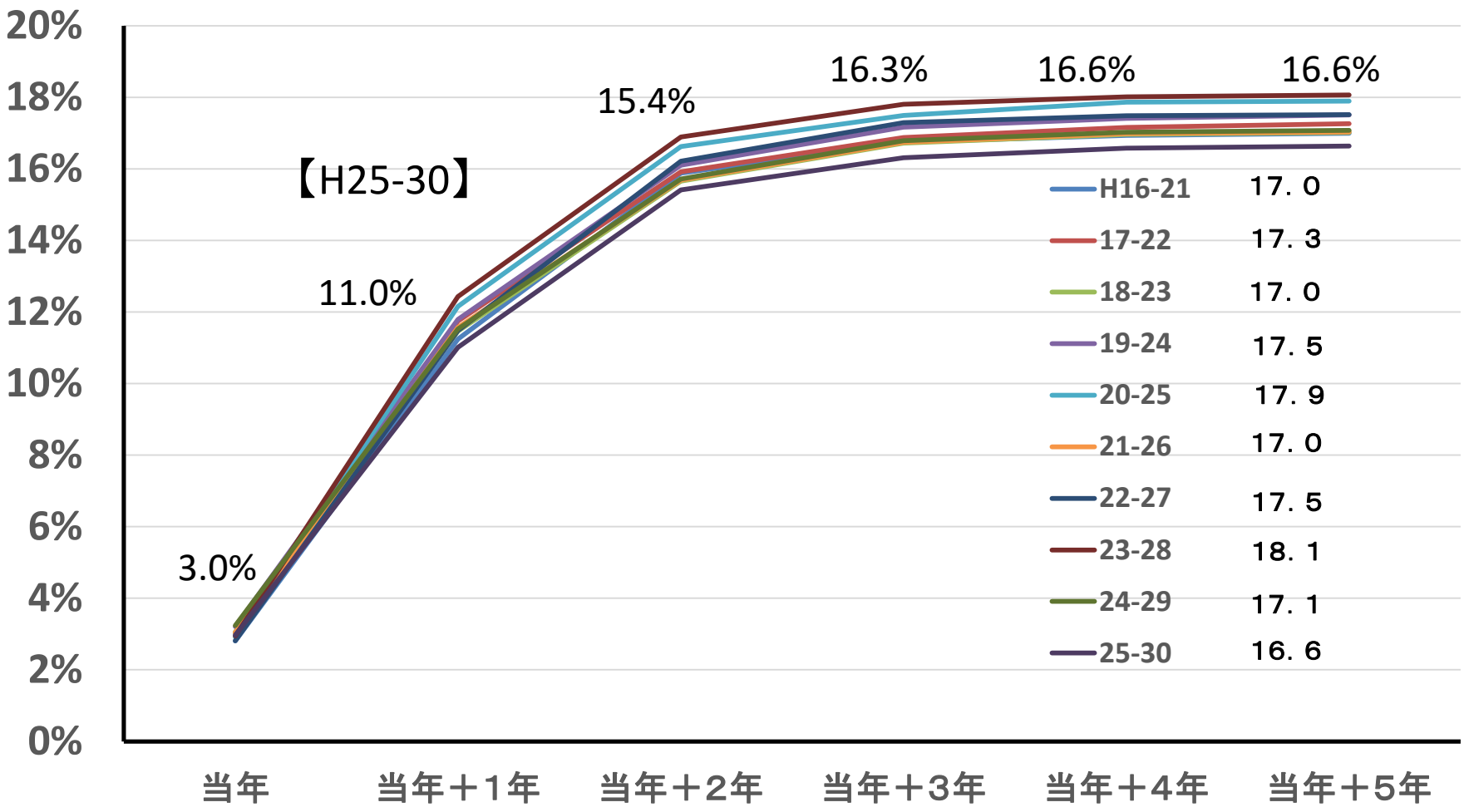


−０．００１％／年　Ｈ２５−３０　１６．６％

KOSEI SUPPORT PROJECT

保護統計　４０　年次別　１号観察に付されたものの成行き調査

１号観察に付されたものの成り行き調査（累積）

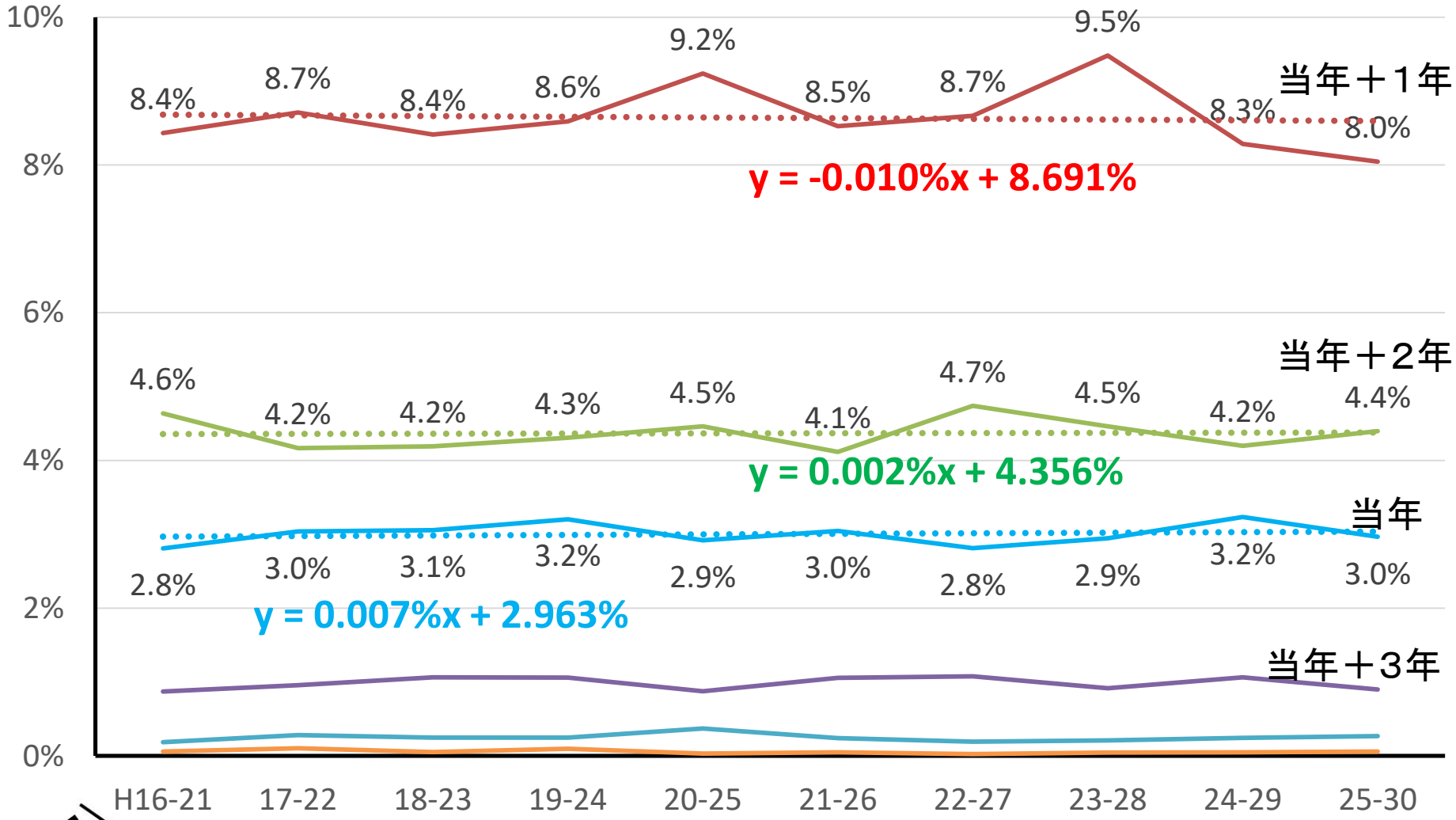


保護観察中の非行による処分：17％

KOSEI SUPPORT PROJECT

保護統計　40　年次別　１号観察に付されたものの成行き調査

１号観察に付されたものの成り行き調査（単年）



±０．０１％以下／年

KOSEI SUPPORT PROJECT

保護統計　４０　年次別　１号観察に付されたものの成行き調査

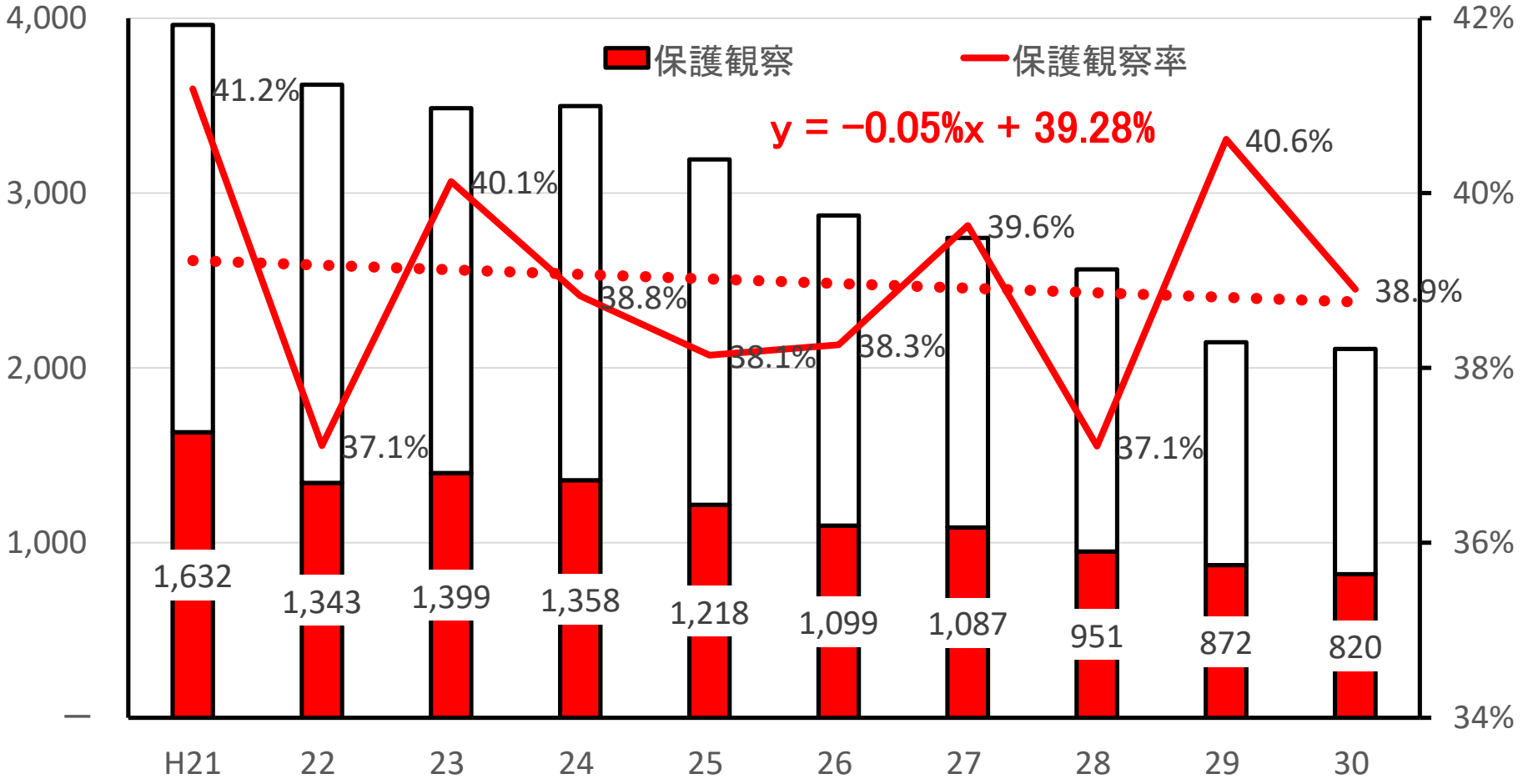
少年院新収容者の前回処分内訳

H30　総数	2,108
【内訳】	
保護観察	820
児童自立支援施設・児童養護施設送致	31
少年院送致	262
知事・児童相談所長送致	12
検察官送致	23
審判不開始・不処分	480
懲役・禁錮の実刑	―
刑の執行猶予	―
罰金・同執行猶予	―
拘留・科料	―
なし	480
不詳	―

KOSEI SUPPORT PROJECT

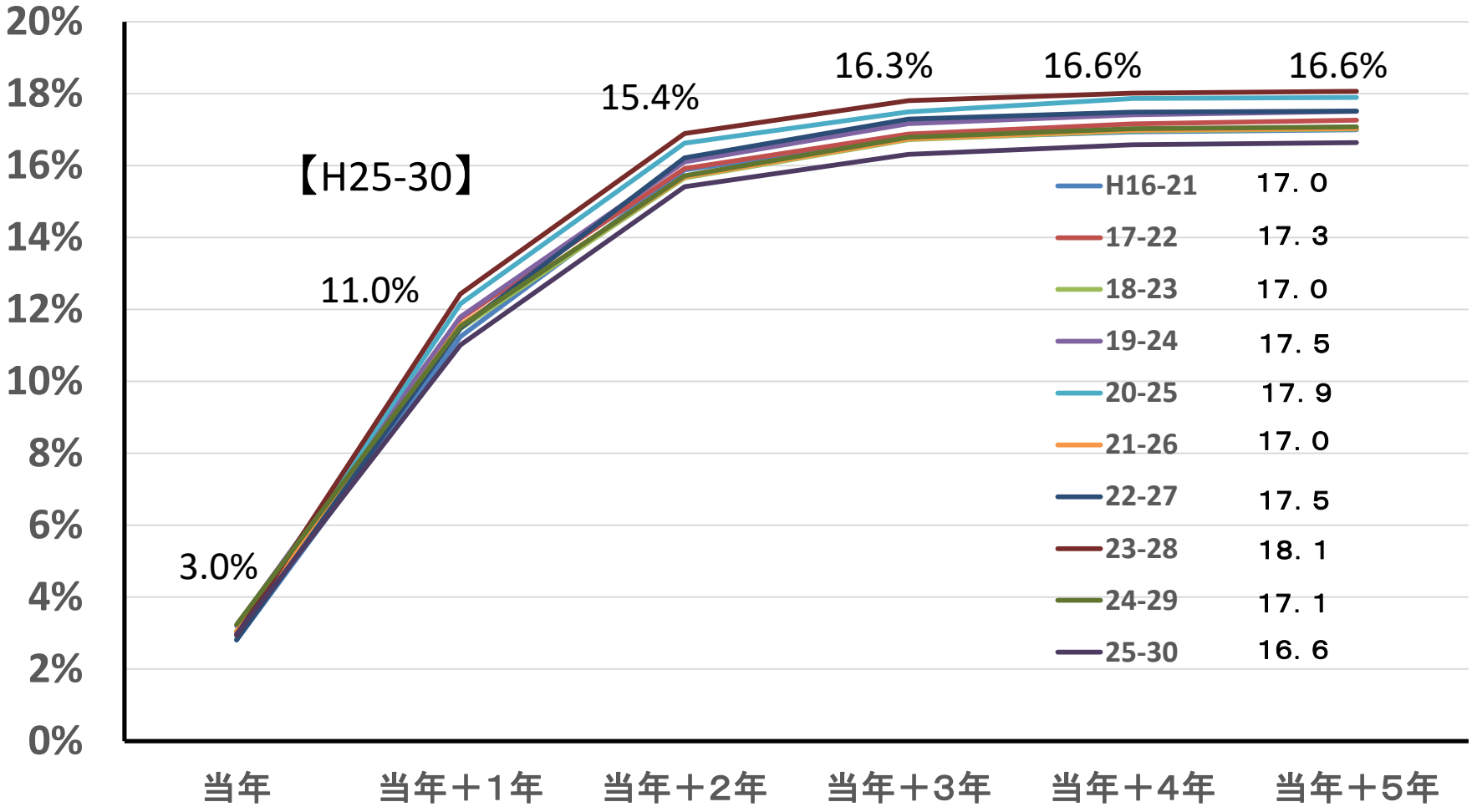
少年矯正統計　１４　新収容者の前回処分別　本件非行までの期間

少年院新収容者の前回処分のうち、保護観察処分率



－0，05%／年　H30　38．9%

１号観察に付されたものの成り行き調査（累積）

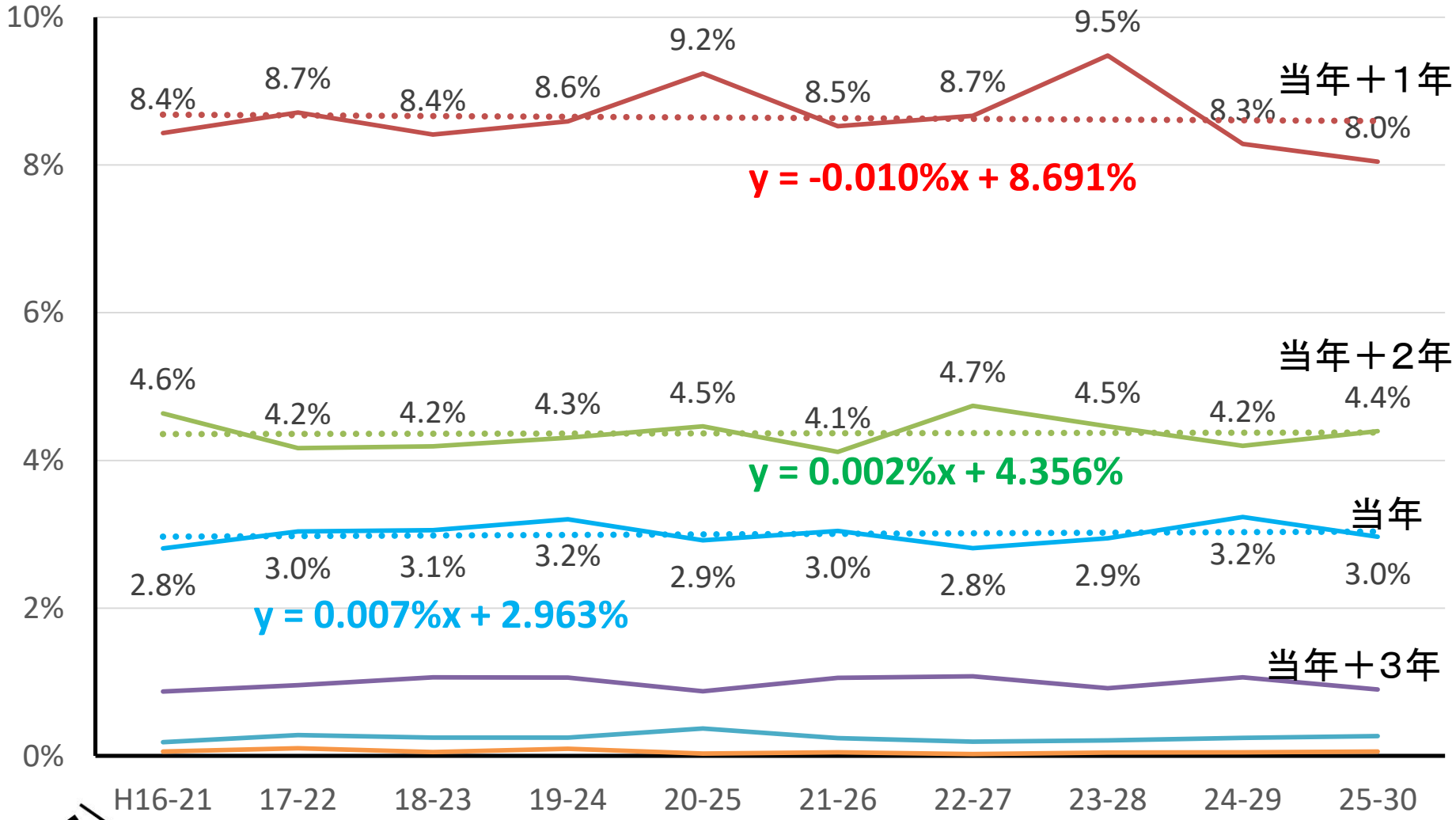


保護観察中の非行による処分：17%

KOSEI SUPPORT PROJECT

保護統計　40　年次別　１号観察に付されたものの成行き調査

１号観察に付されたものの成り行き調査（単年）



±０．０１％以下／年

KOSEI SUPPORT PROJECT

保護統計　４０　年次別　１号観察に付されたものの成行き調査

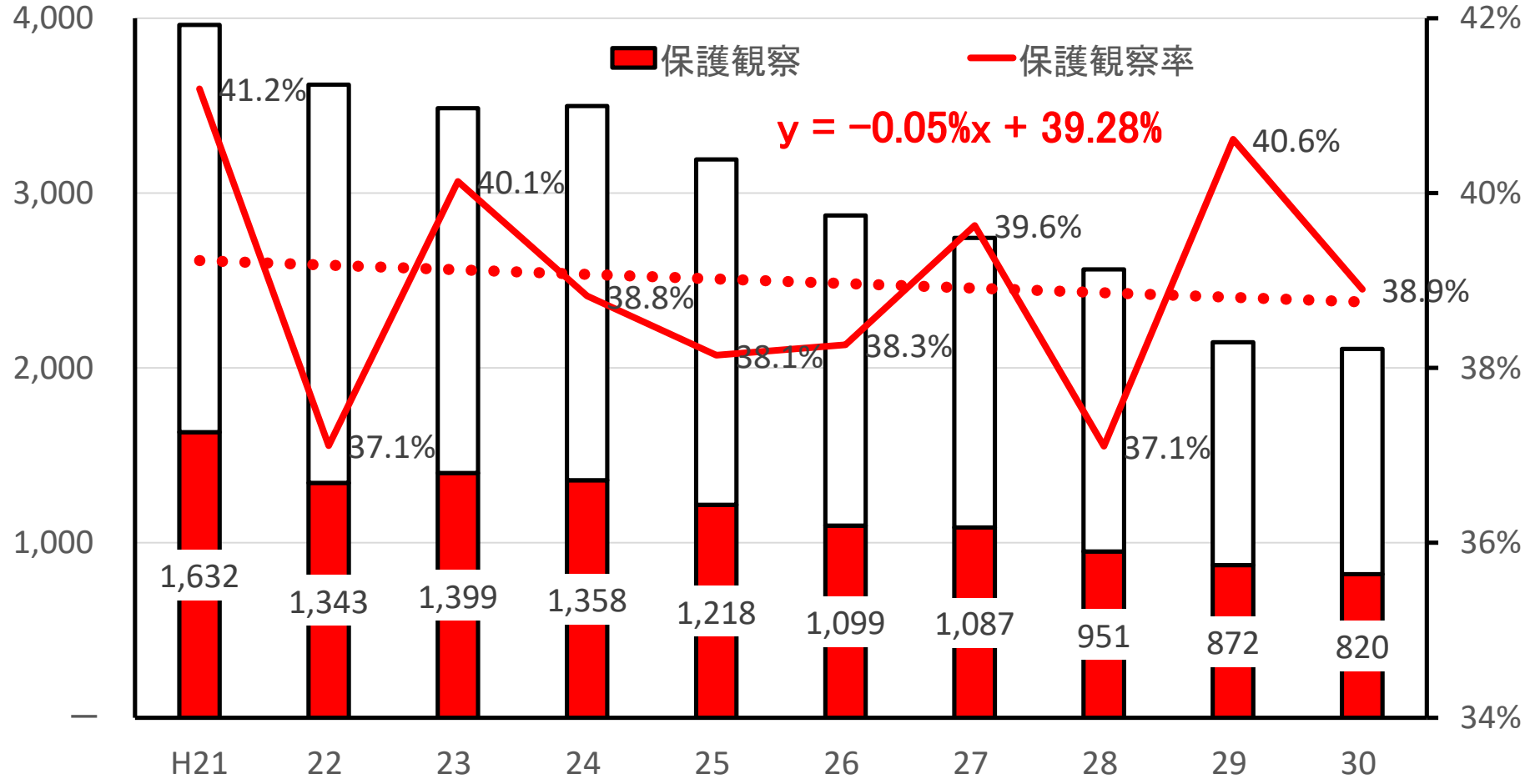
少年院新収容者の前回処分内訳

H30　総数	2,108
【内訳】	
保護観察	820
児童自立支援施設・児童養護施設送致	31
少年院送致	262
知事・児童相談所長送致	12
検察官送致	23
審判不開始・不処分	480
懲役・禁錮の実刑	―
刑の執行猶予	―
罰金・同執行猶予	―
拘留・科料	―
なし	480
不詳	―

KOSEI SUPPORT PROJECT

少年矯正統計　１４　新収容者の前回処分別　本件非行までの期間

少年院新収容者の前回処分のうち、保護観察処分率

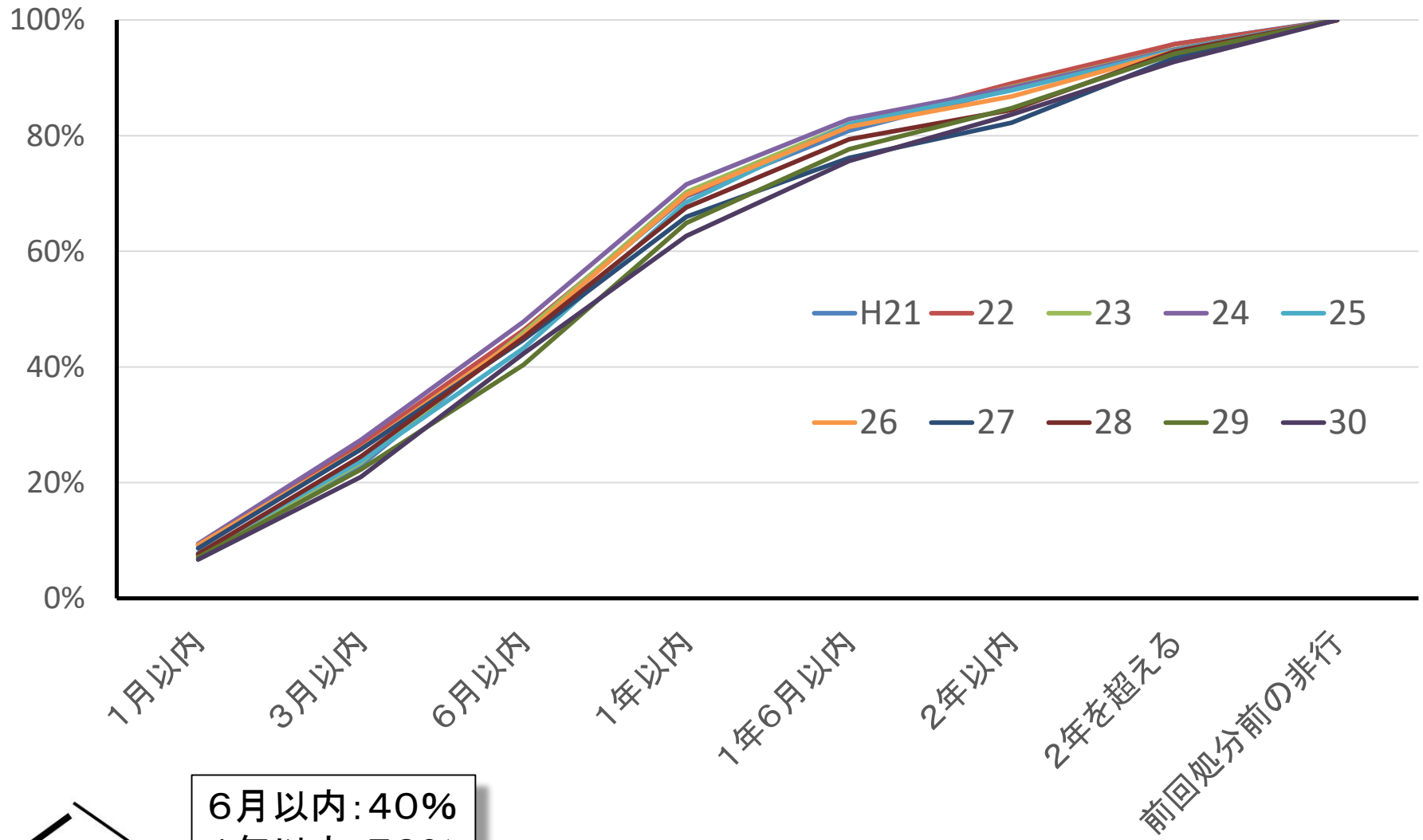


－0，05%／年　H30　38．9%

少年矯正統計　14　新収容者の前回処分別　本件非行までの期間

KOSEI SUPPORT PROJECT

本件非行までの累積期間の保護観察処分率の推移

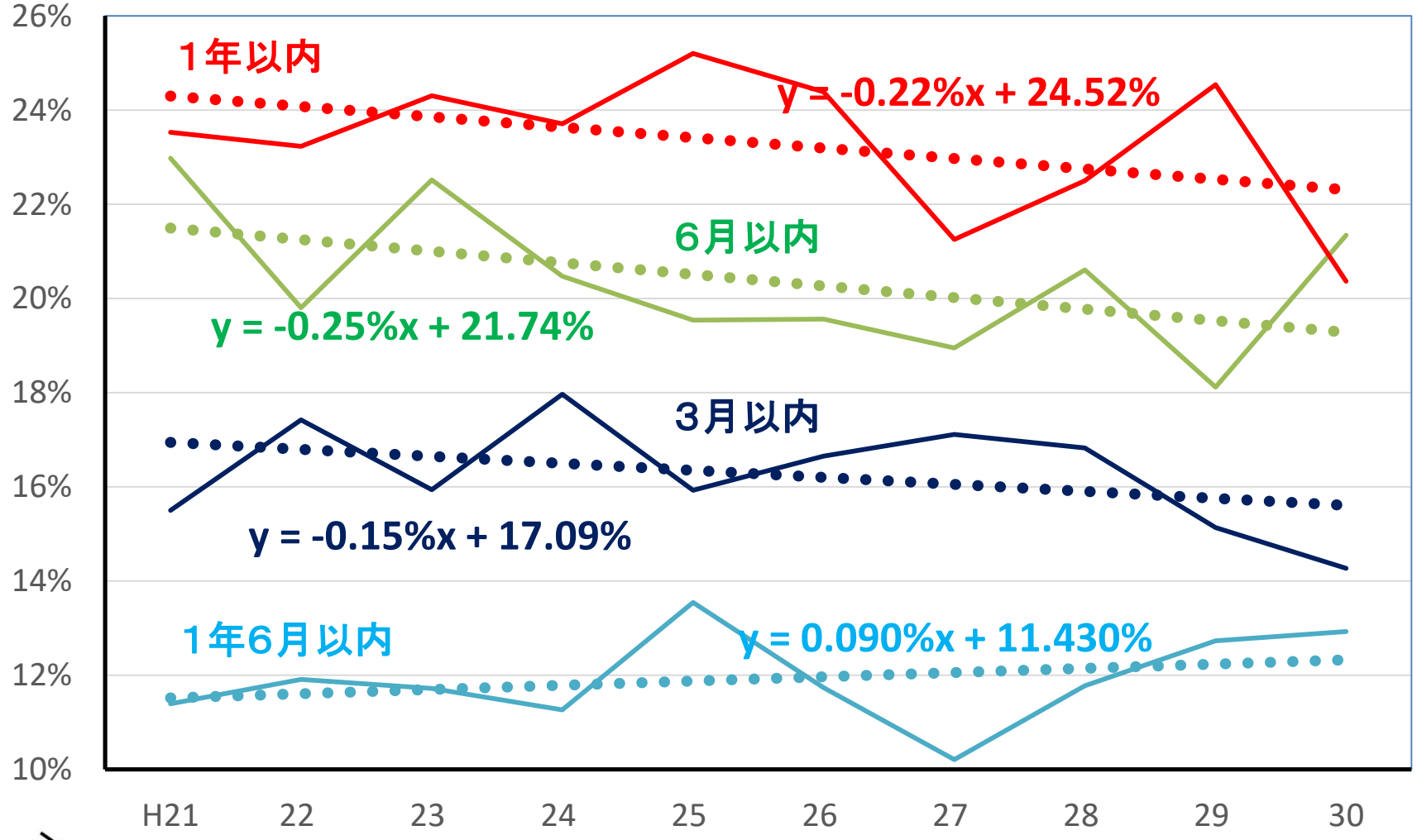


６月以内：40％
１年以内：70％

少年矯正統計　14　新収容者の前回処分別　本件非行までの期間

KOSEI SUPPORT PROJECT

本件非行までの期間毎の保護観察処分率の推移



－０．２％／年

KOSEI SUPPORT PROJECT

少年矯正統計　１４　新収容者の前回処分別　本件非行までの期間

保護統計から学ぶ－2　まとめ

	H21から10年間で	H30
○1号観察保護観察対象者人員		
人員減少率	－48．0％	
	（開始人員－50．4％）	
○1号観察終了者		
人員減少率	－44．3％	
○1号観察　取消終了者		
人員減少率	－53．0％	
取消率	－0．18％／年の減	13．3％
観察所別	－10％～10％の範囲	0～20％の範囲
	最頻値　－4～－2％	最頻値　10～12％
経過期間別	1年以内、1年3月以内　－0．02％／年	
	これ以外　－0．001％／年	
○成り行き調査		
保護観察中の非行	±0．01％以下／年	16．6％

激減

微変

KOSEI SUPPORT PROJECT

ま と め
～変わったこと、変わらなかったこと～

1号観察の保護観察対象者は**ここ10年で半減**し、
H30年25，778人

ところが、保護観察中での、**非行による保護処分率はほぼ横ばい**

①保護観察開始から終了までの5年間に、処分された人員の割合
ここ10年　　±0．01%以下／年　　ほぼ変化なし
H25～30　　16．6%

②年間保護観察終了人員のうち、保護処分取消の割合
ここ10年　　－0．18%／年　　微減
H30　　13．3%

KOSEI SUPPORT PROJECT